

平成 2 8 年度
全国学力・学習状況調査結果

平成 2 8 年 1 2 月
大紀教育委員会

目 次

平成 28 年度全国学力・学習状況調査の結果・分析と今後の取り組みについて	1
1 教科に関する調査の結果・分析	
(1) 本町における特徴的な傾向	3
2 質問紙調査（学校用）に関する調査の結果・分析	
(1) 小学校	13
(2) 中学校	14
3 質問紙調査（児童生徒用）に関する調査の結果・分析	
(1) 小学校	15
(2) 中学校	25
4 町内における各小中学校別調査の結果・分析と今後の取組み	34
5 町教育委員会及び学校による取組み	36
6 保護者の皆様へのお願い	36
7 地域の皆様へのお願い	37

平成28年度全国学力・学習状況調査の結果・分析と今後の取組みについて

平成28年12月

大紀町教育委員会

本年4月19日に、小学校第6学年及び中学校第3学年を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果が、9月29日に文部科学省から公表されました。

結果の概要について、本町の児童生徒の学力の定着状況、学習状況、生活習慣等の分析結果や今後の取組みを以下のとおりまとめました。

なお、「全国学力・学習状況調査」は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる目的で実施されています。さらに、そのような取組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立することが目的とされています。しかしながら、調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面です。このことを十分考慮しつつ、今後の本町の教育の一層の充実を図ってまいります。

なお、この調査の平均正答率等（町・学校別）の数値については、「国の要領に基づいて実施していること」「過度な競争や序列化につながる恐れがあること」「数字が一人歩きし、本来の目的が失われる恐れがあること」等から公表はしておりません。但し、生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査については、数値を公表いたしております。

参加校（小学校4校：58名、中学校2校：75名）

1 分析方法

（1）教科に関する調査

- ・「設問別調査結果」及び「設問別（解答類型）調査結果」をもとに分析
- ・本町の児童生徒に課題が顕著にみられる設問を選択
- ・本町の児童生徒の無解答率の高い設問を選択

＜強み＞平均正答率85ポイント以上かつ全国及び県の平均正答率より高い

＜弱み＞平均正答率50ポイント未満

※強み・弱みについては、上記基準を原則とし、各教科（A・B）の正答率の状況により、その基準値を変動した。

＜無解答率＞10ポイント以上

（2）学校質問紙調査

- ・本町と全国との回答において20ポイント以上の差があり、かつ成果・課題が顕著な質問項目を選択

(3) 児童生徒質問紙調査

- ・本町と全国との回答において5ポイント以上の差があり、かつ成果・課題が顕著な質問項目を選択

2 本町の特徴

(1) 教科に関する調査

- ・小学校は、最後まで書こうと努力した児童が多く、全国に比べて無解答率が低い傾向にある。中学校は、全国に比べて無解答率が高い傾向にある。
- ・小学校は、算数の全領域において平均正答率が高い傾向にある。中学校は、数学の全領域において平均正答率が低い傾向にある。
- ・小学校、中学校とも、国語の領域「書くこと」に係る平均正答率が低い傾向にある。

(2) 学校質問紙調査

- ・小学校、中学校とも、「指導主事や大学の教員等の専門家が、校内研修の指導のために定期的に来校している」と回答している学校の割合は高い傾向にある。
- ・小学校、中学校とも、「算数・数学の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行った」と回答している学校の割合は高い傾向にある。

(3) 児童生徒質問紙調査

- ・小学校、中学校とも、「読書をする時間が10分より少ない、全くしない」と回答している児童生徒の割合は低い傾向にある。
- ・小学校、中学校とも、「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答している児童生徒の割合は高い傾向にある。
- ・小学校は、「テレビやビデオ、DVDを見たり聞いたりする時間が1時間より少ない又は全くしない」と回答している児童の割合は低い傾向にある。また、中学校は、「テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式ゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をする時間が1時間より少ない又は全くしない」と回答している生徒の割合は低い傾向にある。
- ・小学校は、「普段（月～金）に勉強する時間が30分より少ない、全くしない」と回答している児童の割合は低い傾向にある。中学校は、高い傾向にある。

1 教科に関する調査の結果・分析

(1) 本町における特徴的な傾向

<小学校国語A>

○強み

- ・問題1—2：平均正答率 100.0%（三重県 98.6%、全国 98.5%）

「貯金する」の漢字の読みは、全ての児童ができています。

○弱み

- ・問題8—2：平均正答率 43.1%（三重県 38.5%、全国 41.8%）

- ・問題8—3：無回答率 12.1%（三重県 19.0%、全国 20.0%）

促音を含む平仮名で表記されたものをローマ字で書くこと、拗音を含んだローマ字で表記されたものを正しく読むことに課題があります。

<小学校国語B>

○強み

- ・問題3一：平均正答率 77.6%（三重県 75.9%、全国 77.2%）

- ・問題3二：平均正答率 79.3%（三重県 78.4%、全国 77.9%）

目的に応じて、複数の本や文章などを選んだり、効果的に読んだりすることについては、相当数の児童ができています。

○弱み

- ・問題1一：平均正答率 48.3%（三重県 48.9%、全国 51.8%）

目的に応じて、質問したいことを整理することに課題があります。

- ・問題1二：平均正答率 48.3%（三重県 49.6%、全国 51.1%）

質問の意図を捉えることに課題があります。

- ・問題2一：平均正答率 24.1%（三重県 44.2%、全国 43.4%）

グラフを基に、文章と関係付けながら分かったことを的確に書くことに課題があります。

■全体の傾向から見られる課題への対応

- ① 相手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問する指導の充実を図ります。

○事前にインタビューメモを作成するなど、調査等の目的に応じて質問する内容を整理しておく指導を取り入れます。

○目的に応じて、相手の話を注意深く聞く指導を取り入れます。その際、相手の話の内容と関係付けて質問するなど、話の展開に沿って質問の仕方を工夫し、主体的に聞くことを大切にします。

- ② 目的や意図に応じ、図表やグラフを用いて、自分の考えを書く指導の充実を図ります。

○社会科や算数科などで学習した図表やグラフの読み方を生かし、読み取ったことを的確に表現することができるよう指導します。

○自分の考えを伝えるための根拠として、文章の中で図表やグラフなどを用いる場合は、文章と関連付けながら、図表やグラフなどを読む学習活動を意図的に取り入れます。

- ③ ローマ字を、生活の中で、進んで読んだり書いたりする指導の充実を図ります。

○当該学年での学習にとどまらず、繰り返し読んだり書いたりする学習活動を意図的に取り入れます。

○児童が必要性感じられるように、ローマ字表記が添えられた案内板やパンフレットなど、ローマ字が使われている日常の場面と結び付けながら指導します。

＜小学校算数A＞

○強み

- ・問題1(3): 平均正答率 89.7% (三重県 88.6%、全国 87.9%)
除法における計算の確かめの方法を理解しています。
- ・問題2(1): 平均正答率 93.1% (三重県 91.7%、全国 90.9%)
繰り下がりのある減法「(3位数)－(1位数)」の計算をすることができています。
- ・問題2(4): 平均正答率 91.4% (三重県 88.2%、全国 87.0%)
乗数が整数である場合の分数の乗法の計算をし、約分をすることができています。

＜小学校算数B＞

○強み

- ・問題3(1): 平均正答率 63.8% (三重県 62.7%、全国 62.6%)
示された乗法や除法の式の意味を解釈することができています。

○弱み

- ・問題1(2): 平均正答率 44.8% (三重県 44.1%、全国 45.2%)
面積が1cm²小さくなることの説明を解釈し、用いられている考えを別の場面に適用して、その説明を言葉と式を用いて記述することに課題があります。
- ・問題2(3): 平均正答率 15.5% (三重県 14.7%、全国 15.6%)
無解答率 15.5% (三重県 19.0%、全国 18.6%)
示された式の中の数値の意味を、他の数値や演算と関連付けて解釈し、それを言葉や数を用いて記述することに課題があります。
- ・問題3(2): 平均正答率 44.8% (三重県 38.1%、全国 38.4%)
除法を用いて厚紙の縦にかくことができる正方形の数を求め、24個の正方形をかくことができる理由を、言葉や式を用いて記述することに課題があります。
- ・問題4(3): 平均正答率 25.9% (三重県 26.4%、全国 24.9%)
グラフから貸出冊数を読み取り、それを根拠に、示された事柄が正しくない理由を、言葉や数を用いて記述することに課題があります。
- ・問題5(1): 平均正答率 6.9% (三重県 6.1%、全国 6.9%)
無解答率 13.8% (三重県 19.3%、全国 18.7%)
示された除法の式を並べてできた形と関連付け、角の大きさを基に、式の意味の説明を記述することに課題があります。
- ・問題5(2): 平均正答率 25.9% (三重県 26.4%、全国 25.4%)
図形を構成する角の大きさを基に、示された四角形を並べてできる形を判断することに課題があります。

■全体の傾向から見られる課題への対応

① 考えを事象と関連付け、根拠となる事柄を説明する学習の充実を図ります。

○論理の飛躍を防ぎ聞き手に的確に伝わるようにするためには、根拠となる事柄を説明

することが大切です。このため、前提となる考えや理由などの根拠を明らかにして、論理的に考えたり説明したりする学習活動を取り入れます。

- ② 日常生活の事象と式を関連付け、式の意味や数値の意味を解釈し、説明する学習の充実を図ります。

○日常の生活には様々な式が用いられています。それらの式について、日常生活の事象と関連付けて式の意味や数値の意味を解釈する学習活動を取り入れます。

- ③ 説明を振り返ることで、筋道を立てて考えたことを過不足なく説明することができる学習の充実を図ります。

○問題を解決した過程を説明する際には、筋道を立てて考えた過程を明確にして説明するよう指導します。その際、根拠を明確にして過不足なく説明することができているかを、問題場面に戻って考察する活動を意図的に取り入れます。

- ④ グラフを批判的に考察し、情報を正しく読み取ったり、判断した根拠を明らかにした上で、説明したりする学習活動の充実を図ります。

○複数のグラフを比較することきは、それぞれの目盛りの大きさなどに留意して的確に読み取る学習活動を意図的に取り入れます。

○判断した根拠を明らかにし、相手を意識して説明する学習活動を意図的に取り入れます。

- ⑤ 図形と式を関連付けて、論理的に考察する指導の充実を図ります。

○式の意味を、図形の構成要素に着目し、図形の用語を適切に用いて、自ら納得したり他者にわかりやすく説明したりする活動を取り入れます。

- ⑥ 辺の長さや角の大きさなどに着目して見通しをもって図形を構成したり、構成できた根拠を説明したりする活動の充実を図ります。

○辺の長さや角の大きさなどに着目して図形の性質を理解する際には、学習の系統性を意識するとともに、具体物を用いた活動を取り入れます。

<中学校国語A>

○強み

- ・問題1二：平均正答率 78.7%（三重県 77.5%、全国 78.1%）

目的に応じて、資料を効果的に活用して話すことができます。

- ・問題2一：平均正答率 78.7%（三重県 76.5%、全国 78.1%）

伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書くことができます。

- ・問題3二：平均正答率 90.7%（三重県 89.5%、全国 90.0%）

登場人物の言動の意味を考え、内容を理解することができます。

- ・問題6一：平均正答率 81.3%（三重県 80.8%、全国 81.3%）

文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えることができます。

- ・問題9二1：平均正答率 98.7%（三重県 97.6%、全国 97.6%）

文脈に即して漢字「フウトウ」を正しく読むことはできます。

○弱み

- ・問題 9-2 : 平均正答率 28.0% (三重県 22.7%、全国 26.1%)
：無解答率 12.0% (三重県 10.5%、全国 11.4%)

文脈に即して漢字を正しく書くことに課題があります。

- ・問題 9 六 : 平均正答率 44.4% (三重県 55.2%、全国 55.5%)

文字の形や大きさ、配列に注意して書くことに課題があります。

<中学校国語B>

○弱み

- ・問題 1 三 : 無解答率 10.7% (三重県 8.1%、全国 7.8%)

文書の構成や表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えを具体的に書くことに課題があります。

- ・問題 2 三 : 平均正答率 36.0% (三重県 46.6%、全国 49.2%)

課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考えることに課題があります。

- ・問題 3 三 : 無解答率 28.0% (三重県 22.4%、全国 22.8%)

本や文章などから必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書くことに課題があります。

■全体の傾向から見られる課題への対応

- ① 文章の構成や展開、表現の仕方とその効果について、自分の考えをまとめる学習の充実を図ります。
○実際にちらし等を作成し、表現の工夫について説明したり、その効果について検討したりする学習活動を取り入れます。
- ② 課題の解決に向け、見通しをもって情報を収集する学習の充実を図ります。
○学校図書館の利用に当たり、小学校での学習内容を踏まえ、日本十進分類法や本の配置について確かめる学習活動を取り入れます。
○新聞や雑誌、コンピューターなど、複数の情報収集の方法を考えさせたり、収集の方法や情報の適否について交流したりする学習活動を取り入れます。
- ③ 自分の考えや気持ちと根拠の関係について吟味する学習の充実を図ります。
○資料から得た情報から、より想像が広がったり理解が深まったりした内容について、根拠を明確にして説明し合う学習活動を取り入れます。その際、根拠を明確にして、示した内容が自分の考えや気持ちを支えるものになっているかどうかについて吟味するよう指導します。
- ④ 漢字を読むことの指導においては、具体的な文脈の中で漢字の読み方と意味を関連させて理解したり、似た意味であっても場面や状況によって使う言葉が異なることを確かめたりする学習の充実を図ります。
- ⑤ 字形を整え、文字の大きさ、配列などに注意して書くことができるよう、書写の学習では、観点を確認した後、個人やグループで書いたものを検討する学習の充実を図ります。

<中学校数学A>

○強み

- ・問題 7 (2) : 平均正答率 78.7% (三重県 77.3%、全国 74.7%)
ひし形について対角線が垂直に交わることを、記号を用いて垂直に表すことができています。

○弱み

- ・問題 1 (1) : 無解答率 12.0% (三重県 4.4%、全国 5.0%)
分数と小数の乗法の計算をすることに課題があります。
- ・問題 1 (2) : 平均正答率 38.7% (三重県 40.4%、全国 40.6%)
自然数の意味を理解することに課題があります。
- ・問題 2 (1) : 平均正答率 25.3% (三重県 32.9%、全国 32.2%)
無解答率 14.7% (三重県 10.2%、全国 12.5%)
数量の関係を文字式に表すことに課題があります。
- ・問題 2 (4) : 無解答率 12.0% (三重県 7.6%、全国 8.2%)
具体的な場面で数量の関係を表す式を、等式の性質を用いて、目的に応じて変形することに課題があります。
- ・問題 3 (1) : 無解答率 14.7% (三重県 4.8%、全国 5.1%)
簡単な一元一次方程式を解くことに課題があります。
- ・問題 3 (3) : 無解答率 20.0% (三重県 13.3%、全国 15.4%)
具体的な場面における数量の関係を捉え、比例式をつくることに課題があります。
- ・問題 4 (1) : 平均正答率 25.3% (三重県 31.1%、全国 30.9%)
垂線の作図の方法について理解することに課題があります。
- ・問題 5 (2) : 無解答率 10.7% (三重県 5.0%、全国 5.6%)
四角形をその面と垂直な方向に平行に動かすと、四角柱が構成されることを理解することに課題があります。
- ・問題 5 (4) : 無解答率 14.7% (三重県 12.1%、全国 14.2%)
- ・問題 7 (2) : 無解答率 12.0% (三重県 9.4%、全国 11.4%)
ひし形について対角線が垂直に交わることを、記号を用いて表すことに課題があります。
- ・問題 7 (3) : 無解答率 13.3% (三重県 7.2%、全国 7.7%)
命題の逆を理解することに課題があります。
- ・問題 9 (1) : 無解答率 12.0% (三重県 3.1%、全国 3.2%)
比例の関係を表す表から変化や対応の特徴を捉え、 x の値に対応する y の値を求めることに課題があります。
- ・問題 9 (2) : 平均正答率 25.3% (三重県 38.7%、全国 39.4%)
無解答率 22.7% (三重県 11.3%、全国 12.1%)
比例の式について、 x の値の増加に伴う y の増加量を求めることに課題があります。

- ・問題 9 (3) : 平均正答率 30.7% (三重県 44.1%、全国 42.0%)
具体的な事象における 2 つの数量の関係が、反比例の関係になることを理解することに課題があります。
- ・問題 9 (4) : 平均正答率 21.3% (三重県 37.6%、全国 34.5%)
無解答率 24.0% (三重県 12.6%、全国 14.8%)
反比例のグラフ上の点の座標から、 x と y の関係を式で表すことに課題があります。
- ・問題 10 (2) : 無解答率 34.7% (三重県 19.4%、全国 22.3%)
一次関数 $y = ax + b$ について、変化の割合が一定で a の値に等しいことを理解することに課題があります。
- ・問題 10 (3) : 無解答率 25.3% (三重県 17.1%、全国 18.9%)
一次関数のグラフから、 x の変域に対応する y の変域を求めることに課題があります。
- ・問題 11 : 無解答率 20.0% (三重県 12.8%、全国 14.1%)
具体的な事象における一次関数の関係を式に表すことに課題があります。
- ・問題 12 (1) : 平均正答率 36.0% (三重県 49.4%、全国 45.5%)
無解答率 24.0% (三重県 15.4%、全国 17.4%)
資料を整理した表から最頻値を読み取ることに課題があります。
- ・問題 12 (2) : 平均正答率 32.0% (三重県 33.2%、全国 34.7%)
無解答率 10.7% (三重県 2.3%、全国 2.5%)
測定値が与えられた場面において、近似値と誤差の意味を理解することに課題があります。
- ・問題 13 (2) : 無解答率 18.7% (三重県 8.4%、全国 8.5%)
簡単な場合について、確率を求めることに課題があります。

■全体の傾向から見られる課題への対応

- ① 分数や小数を含む計算が確実にできるようにします。
- ② 数の集合を捉え直し、自然数や整数の意味を理解する学習の充実を図ります。
○正の数と負の数の範囲で数の集合を捉え直す場面を設定し、数について理解を深め、自然数や整数の意味を理解する学習活動を取り入れます。
- ③ 事柄や数量の関係を捉え、その関係を文字式に表す学習の充実を図ります。
○具体的な数や言葉を使った式を利用したり図に表したりして事柄や数量の関係を捉え、文字式に表す学習活動を取り入れます。
- ④ ある文字について解くことの意味を理解し、等式を変形できるようにする学習の充実を図ります。
○2 つ以上の文字を含む等式を、ある文字について解く場面を設定し、正しく変形できるようにする学習活動を取り入れます。その際、変形して得られた式を具体的な場面で利用することのよさを感じ得るようにします。

- ⑤ 等式の性質を基にして、一元一次方程式を解くことができるようにします。
- ⑥ 数量の関係を捉えて比例式をつくり、解くことができるようにします。
○具体的な場面における数量の関係を見だし、比例式をつくることができるよう、比と数量の関係を視覚的に捉える学習活動を取り入れます。
- ⑦ 作図した図形の特徴を、作図の方法に基づいて捉えることができるようにする学習の充実を図ります。
○手順通りの作図によって、何が作図できたのかを理解できるよう、個々の手順で得られる点や線分の特徴を図形の性質と関連付けて読み取る学習活動を取り入れます。
- ⑧ 平面図形の運動によって空間図形が構成されたものとみることができるようにする学習の充実を図ります。
○平面図形の運動によって空間図形が構成されたものとみることができるよう、観察や操作を取り入れ、立体を実際に構成する学習活動を取り入れます。
- ⑨ 柱体と錐体の体積の関係を理解できるようにする学習の充実を図ります。
○柱体と錐体の体積の関係を理解できるよう、柱体と錐体の体積の関係を予想し、模型を用いた実験による測定を行って確かめる学習活動を取り入れます。
- ⑩ 辺や角などについての関係を、記号を用いて正しく表す学習の充実を図ります。
○辺や角などの関係を記号を用いて正しく表すことができるよう、図形の構成要素間の関係を考察したり、記号で表された内容を読み取ったりする活動を取り入れます。
- ⑪ 命題と、その命題の逆について理解できるようにする学習の充実を図ります。
○命題と、その命題の逆について理解できるよう、仮定と結論を区別し、それらを入れかえ、もとの命題の逆をつくる活動を取り入れます。
- ⑫ 比例の表から、 x 、 y の変化や対応の特徴を捉え、 x の値に対応する y の値を求めることができるようする学習の充実を図ります。
- ⑬ x の値の増加に伴う y の増加量を求めることができるようにするための学習の充実を図ります。
○ x の値の増加に伴う y の増加量を求めることができるよう、 x の値の増加に伴って、 y の値がどのように変化するかを調べる活動を取り入れます。
- ⑭ 具体的な事象における 2 つの数量の関係を式に表し、反比例の関係をみいだすことができるようにするための学習の充実を図ります。
○2 つの数量の関係を捉え、反比例の関係をみいだすことができるよう、具体的な事象の中から 2 つの数量を取り出し、それらの変化や対応の様子を調べる活動を取り入れるようにします。表に表すことが困難な生徒に対しては、数量の関係を言葉の式や線分図などで表したり、表をつくって具体的な数値を基に変化の様子を調べたりする活動を取り入れます。
- ⑮ 反比例のグラフから x と y の関係を式で表すことができるようにするための学習の充実を図ります。
○反比例のグラフから x と y の関係を式で表すことができるよう、グラフの特徴と式を関連付けて考察する活動を取り入れます。

- ⑯ 一次関数の変化の割合の意味を理解できるようにするための学習の充実を図ります。
- 一次関数 $y=ax+b$ について、 x の増加量とそれに伴う y の増加量を調べ、変化の割合は必ず x の係数 a と等しいことを確認する活動を取り入れます。また、変化の割合 a が、グラフでは「右へ1進むと、上へ a 進む」ことに着目し、変化の割合と一次関数のグラフの傾きが一致すること視覚的に理解する活動を取り入れます。
- ⑰ グラフを用いて変域を視覚的に捉え、変域を求めることができるようにするための学習の充実を図ります。
- 与えられた x の変域から対応する y の変域を求めていくことができるように、 x の変域の端点に対応する y 座標を求めたり、グラフを用いて変域を視覚的に捉えたりする活動を取り入れます。
- ⑱ 具体的な事象における2つの数量の関係を捉えて式に表すことができるようにします。
- ⑲ 代表値の必要性和意味を理解し、代表値を求めることができるようにします。
- ⑳ 近似値と誤差の意味を理解できるようにします。
- 近似値と誤差の意味を理解できるよう、測定値には誤差があり、真の値の近似値であることを、実感を伴って理解できるようにする活動を取り入れます。
- ㉑ 「同様に確からしい」ことの意味を理解し、確率を求めることができるようにします。

<中学校数学B>

○強み

- ・問題1(1): 平均正答率 80.0% (三重県 77.5%、全国 79.3%)
与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、処理することができます。

○弱み

- ・問題1(2): 平均正答率 28.0% (三重県 31.4%、全国 33.4%)
無解答率 29.3% (三重県 18.7%、全国 19.3%)
与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、数量の関係を数学的に表現することに課題があります。
- ・問題1(3): 平均正答率 38.7% (三重県 47.3%、全国 51.4%)
数学的な結果を事象に即して解釈することを通して、適切な事柄を判断し、その事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明することに課題があります。
- ・問題2(1): 無解答率 14.7% (三重県 8.0%、全国 8.7%)
与えられた条件を基に、表から2つの数量の変化や対応の特徴を捉え、 x の値に対応する y の値を求めることに課題があります。
- ・問題2(2): 平均正答率 13.3% (三重県 20.0%、全国 20.6%)
前提となる条件が不足している場合に、加えるべき条件を判断し、それが適している理由を説明することに課題があります。
- ・問題3(1): 無解答率 10.7% (三重県 3.4%、全国 3.4%)
与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することに課題があります。
- ・問題3(2): 平均正答率 26.7% (三重県 30.8%、全国 29.8%)

グラフの傾きを事象に即して解釈することに課題があります。

- ・問題3 (3): 平均正答率 25.3% (三重県 32.9%、全国 30.3%)
無解答率 14.7% (三重県 11.2%、全国 12.1%)

事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題があります。

- ・問題4 (1): 平均正答率 24.0% (三重県 30.0%、全国 29.4%)
無解答率 37.3% (三重県 19.7%、全国 22.3%)

筋道を立てて考え、証明することに課題があります。

- ・問題4 (2): 平均正答率 34.7% (三重県 35.2%、全国 37.3%)
無解答率 49.3% (三重県 29.3%、全国 30.5%)

付加された条件の下で、新たな事柄を見だし、説明することに課題があります。

- ・問題5 (1): 平均正答率 37.3% (三重県 45.6%、全国 47.6%)
無解答率 34.7% (三重県 19.7%、全国 19.3%)

資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題があります。

- ・問題5 (2): 平均正答率 22.7% (三重県 30.8%、全国 31.1%)
無解答率 49.3% (三重県 31.7%、全国 33.5%)

与えられた情報から必要な情報を選択し、数学的に表現することに課題があります。

- ・問題6 (1): 無解答率 29.3% (三重県 12.8%、全国 12.8%)

問題場面における考察の対象を明確に捉えることに課題があります。

- ・問題6 (2): 平均正答率 10.7% (三重県 15.1%、全国 15.4%)
無解答率 54.7% (三重県 39.7%、全国 41.5%)

与えられた式を用いて、問題を解決する方法を数学的に説明することに課題があります。

- ・問題6 (3): 平均正答率 38.7% (三重県 52.0%、全国 52.9%)
無解答率 12.0% (三重県 4.1%、全国 4.5%)

計算の過程を振り返って考え、数当てゲームの新しい手順を完成することに課題があります。

■全体の傾向から見られる課題への対応

- ① 目的に応じて条件を設定し、数量の関係を数学的に表現する学習の充実を図ります。
○目的に応じて必要な条件を設定し、数量の関係を数学的に表現できるようにするために、実生活の場面での問題を解決する活動を取り入れるようにします。
- ② 実生活における問題を解決する際に、数学的な結果を事象に即して解釈できるようにするとともに、事柄が成り立つ理由を、数学的な表現を用いて説明する学習の充実を図ります。
- ③ 関数関係を表す表から変化や対応の特徴を捉え、対応する値を求めることができるようにします。
- ④ 前提として必要な条件を判断し、それが適している理由を説明する学習の充実を図り

ます。

- ⑤ 目的に応じて必要な情報を選択し、事象を数学的に表現し処理する学習の充実を図ります。
- ⑥ 問題解決のために数学を活用する方法を考え、説明する学習の充実を図ります。
○様々な問題を数学を活用して解決できるようにするために、問題解決の方法や手順を説明する場面を設定し、表、式、グラフなどの「用いるもの」と「用い方」について明らかにすることができるように指導します。
- ⑦ 事柄が成り立つ理由を筋道を立てて考え、証明する学習の充実を図ります。
○結論を導くために何がわかればよいかを明らかにしたり、与えられた条件を整理したり、着目すべき性質や関係を見だし、事柄が成り立つ理由を筋道を立てて考えたりする活動を取り入れ、証明できるように指導します。
- ⑧ 付加した条件の下で、見いだした事柄を数学的に表現する学習の充実を図ります。
- ⑨ 資料の傾向を的確に捉えて判断し、その理由を数学的に表現する学習の充実を図ります。
- ⑩ 不確定な事象を考察する場面で、目的に応じて資料を整理し、資料の傾向を読み取って問題を解決する学習の充実を図ります。
- ⑪ 文字を用いて処理した結果に基づいて、問題解決の方法を説明する学習の充実を図ります。
- ⑫ 問題解決の過程を振り返って考える学習の充実を図ります。

2 質問紙調査（学校用）に関する調査の結果・分析

(1) 小学校

学校質問紙の概要

○取組が進んだと考えられる項目

		大紀町	三重県	全国
(57) 調査対象学年の児童に対して、前年度に、国語の授業において、コンピュータ等の情報通信技術を活用した授業を行いましたか ※ (58) 算数の授業についても同じ傾向（ ）内算数の数値	週1回以上	50.0 (100.0)	18.5 (30.4)	15.6 (25.2)
	月1回以上	50.0 (0.0)	26.1 (21.5)	27.1 (25.8)
	学期に1回以上	0.0 (0.0)	39.2 (32.8)	41.9 (31.4)
	ほとんど、または、全く行っていない	0.0 (0.0)	16.1 (15.3)	15.3 (17.5)
(103) 都道府県や市町村の指導主事や大学教員等の専門家が、校内研修の指導のために定期的に来校していますか	よくしている	100.0	50.8	37.1
	どちらかといえば、している	0.0	34.9	35.7
	あまり行っていない	0.0	11.8	20.4
	全く行っていない	0.0	2.4	6.7
(75) 調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	よく行った	25.0	11.3	11.4
	どちらかといえば、行った	75.0	64.5	62.7
	あまり行っていない	0.0	23.7	25.3
	全く行っていない	0.0	0.5	0.4
(48) 調査対象学年の児童に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか	よく行った	50.0	18.8	18.4
	どちらかといえば、行った	50.0	58.9	56.2
	あまり行っていない	0.0	20.7	24.5
	全く行っていない	0.0	1.6	0.7
(81) 前年度までに、近隣等の中学校と、意見を交換し合うなど、教員同士の交流を行いましたか	よく行った	0.0	31.2	29.6
	どちらかといえば、行った	100.0	54.3	50.4
	あまり行っていない	0.0	12.1	16.5
	全く行っていない	0.0	2.4	3.4

○今後、取組を進める必要がある項目

		大紀町	三重県	全国
(82) 前年度までに、近隣等の中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	よく行った	0.0	14.8	13.4
	どちらかといえば、行った	0.0	33.1	33.7
	あまり行っていない	75.0	37.9	39.3
	全く行っていない	25.0	14.2	13.5
(86) 調査対象学年の児童に対して、前年度までに、博物館や科学館、図書館を利用した授業を行いましたか	よく行った	0.0	7.3	8.0
	どちらかといえば、行った	0.0	32.5	38.2
	あまり行っていない	50.0	44.1	41.0
	全く行っていない	50.0	16.1	12.6
(64) 調査対象学年の児童に対して、算数の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか	年間授業のうち、おおよそ3/4以上で行った	0.0	9.4	22.6
	年間授業のうち、おおよそ1/2以上、3/4未満で行った	0.0	4.0	11.0
	年間授業のうち、おおよそ1/4以上、1/2未満で行った	0.0	7.3	11.7
	年間授業のうち、おおよそ1/4未満で行った	0.0	12.9	15.4
	行っていない	100.0	66.1	39.1
(109) 授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか	年間15回以上	0.0	31.2	26.1
	年間13回から14回	0.0	5.9	6.2
	年間11回から12回	0.0	9.4	8.5
	年間9回から10回	50.0	15.6	11.8
	年間7回から8回	50.0	19.9	18.3
	年間5回から6回	0.0	10.5	16.8
	年間3回から4回	0.0	7.3	10.9
	年間1回から2回	0.0	0.3	1.2
	全く実施していない	0.0	0.0	0.0
(34) 指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか	よくしている	25.0	32.5	31.7
	どちらかといえば、している	25.0	57.0	59.7
	あまり行っていない	50.0	9.9	8.5
	全く行っていない	0.0	0.3	0.1

(2) 中学校

学校質問紙の概要

○取組が進んだと考えられる項目

		大紀町	三重県	全国
(101) 都道府県や市町村の指導主事や大学教員等の専門家が、校内研修の指導のために定期的に来校していますか	よくしている	50.0	39.7	27.2
	どちらかといえば、している	50.0	36.5	35.1
	あまりしていない	0.0	17.9	27.7
	全くしていない	0.0	5.8	9.9
(68) 調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか ※ (74) 数学の授業についても同じ傾向 () 内数学の数値	よく行った	0.0 (0.0)	10.3 (16.7)	10.5 (14.1)
	どちらかといえば、行った	100.0 (100.0)	55.8 (53.2)	55.0 (55.0)
	あまり行っていない	0.0 (0.0)	32.1 (28.8)	32.7 (29.4)
	全く行っていない	0.0 (0.0)	1.9 (1.3)	1.8 (1.4)
(96) 調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか(国語/数学共通)	よく行った	0.0	16.7	14.9
	どちらかといえば、行った	100.0	57.1	53.9
	あまり行っていない	0.0	25.0	30.2
	全く行っていない	0.0	1.3	0.9
(75) 調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	よく行った	50.0	10.9	10.2
	どちらかといえば、行った	50.0	57.7	59.0
	あまり行っていない	0.0	30.1	29.9
	全く行っていない	0.0	0.6	0.7
(104) 教員は、校外の教員同士の授業研究の場に定期的に継続的に参加していますか	よくしている	50.0	35.9	26.6
	どちらかといえば、している	50.0	51.9	51.2
	あまりしていない	0.0	12.2	21.3
	全く行っていない	0.0	0.0	0.8

○今後、取組を進める必要がある項目

		大紀町	三重県	全国
(16) 調査対象学年の生徒は、礼儀正しいと思いますか	そのとおりに思う	0.0	32.7	41.5
	どちらかといえば、そう思う	0.0	63.5	52.2
	どちらかといえば、そう思わない	100.0	3.8	6.2
	そう思わない	0.0	0.0	0.2
(50) 調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、道徳の時間において、生徒自らが考え、話し合う指導をしましたか	よく行った	0.0	25.0	28.8
	どちらかといえば、行った	0.0	57.7	59.9
	あまり行っていない	100.0	17.3	11.0
	全く行っていない	0.0	0.0	0.1
(49) 調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか	よく行った	0.0	34.6	29.8
	どちらかといえば、行った	0.0	50.6	55.4
	あまり行っていない	100.0	14.1	14.4
	全く行っていない	0.0	0.6	0.2
(46) 調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、資料を使って発表ができるよう指導しましたか	よく行った	0.0	19.2	21.2
	どちらかといえば、行った	0.0	61.5	63.5
	あまり行っていない	100.0	19.2	15.0
	全く行っていない	0.0	0.0	0.1
(43) 調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしましたか	よく行った	0.0	17.9	29.3
	どちらかといえば、行った	0.0	61.5	53.6
	あまり行っていない	100.0	20.5	16.6
	全く行っていない	0.0	0.0	0.3

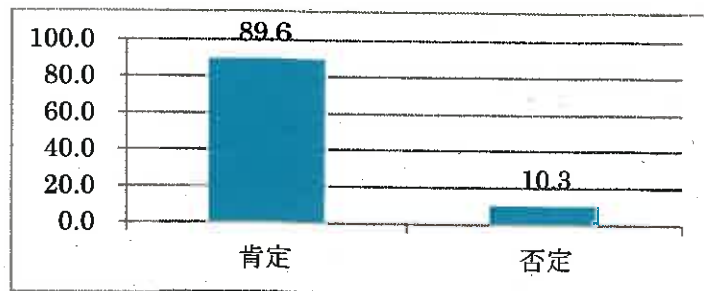
3 質問紙調査（児童生徒用）に関する調査の結果・分析

(1) 小学校

<強み>

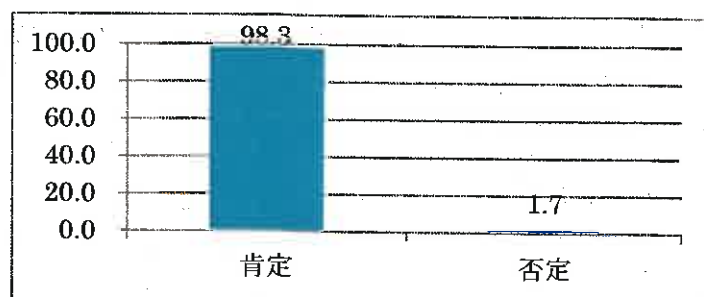
- 【質問（2）】毎日、同じくらいの時刻に寝ていると回答した割合
（全国との差 9.5）

	肯定	否定
大紀町	89.6	10.3
三重県	80.2	19.7
全国	80.1	19.8



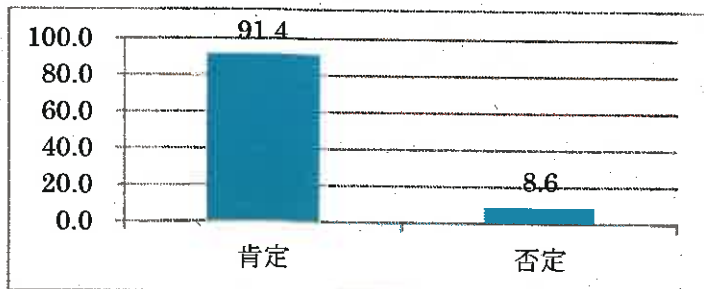
- 【質問（8）】友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができると回答した割合
（全国との差 5.6）

	肯定	否定
大紀町	98.3	1.7
三重県	92.9	7.0
全国	92.7	7.3



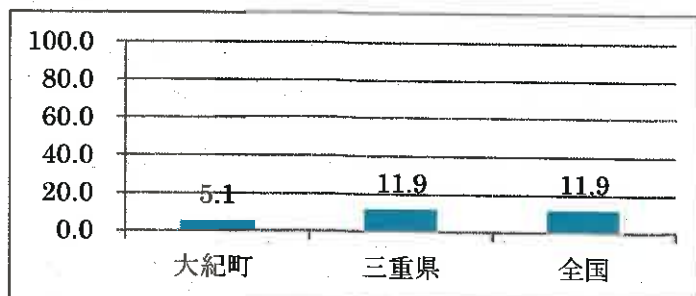
- 【質問（9）】将来の夢や目標を持っていると回答した割合
（全国との差 6.1）

	肯定	否定
大紀町	91.4	8.6
三重県	83.7	16.2
全国	85.3	14.6



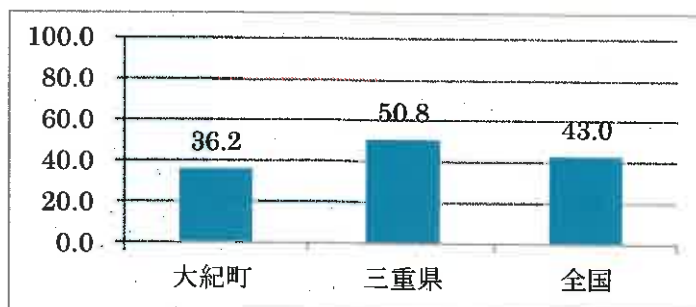
- 【質問（14）】学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たり勉強する時間（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）が30分より少ない、全くしないと回答した割合
（全国との差 -6.8）

	30分より少ない 全くしない
大紀町	5.1
三重県	11.9
全国	11.9



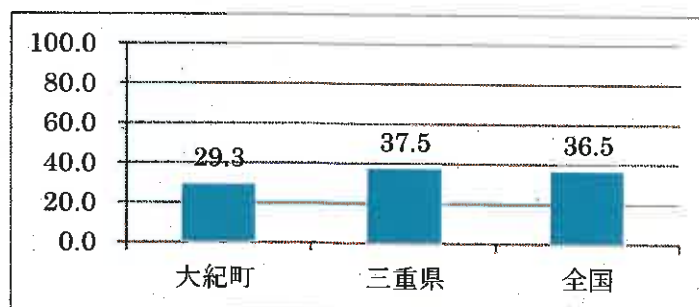
- 【質問（１５）】土曜日や日曜日など学校が休みの日に、１日当たり勉強する時間（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）が１時間より少ない、全くしないと回答した割合
（全国との差 — 6. 8）

	30分より少ない 全くしない
大紀町	36.2
三重県	50.8
全国	43.0



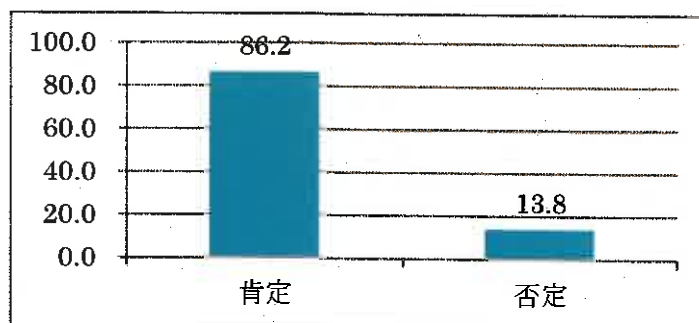
- 【質問（１７）】学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、１日当たりの読書の時間（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）が１０分より少ない、全くしないと回答した割合
（全国との差 — 7. 2）

	10分より少ない 全くしない
大紀町	29.3
三重県	37.5
全国	36.5



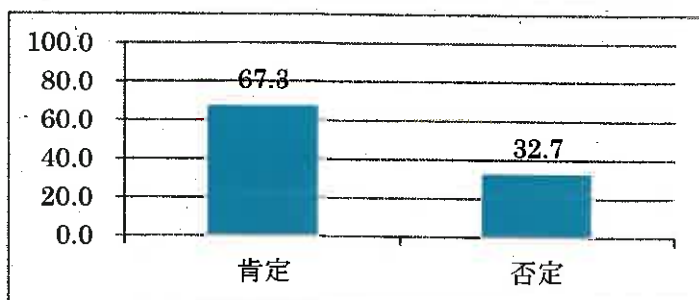
- 【質問（１９）】家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をすると回答した割合
（全国との差 7. 0）

	肯定	否定
大紀町	86.2	13.8
三重県	78.2	21.7
全国	79.2	20.6



- 【質問（２１）】家で、自分で計画を立てて勉強していると回答した割合
（全国との差 5. 1）

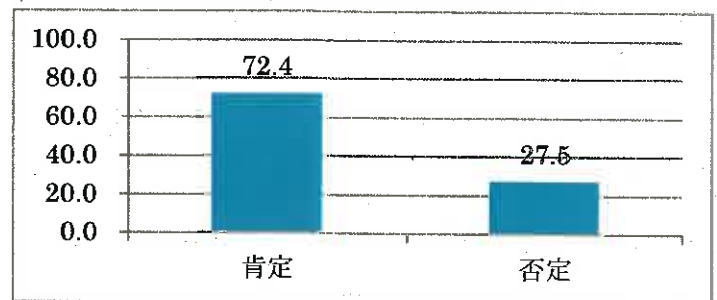
	肯定	否定
大紀町	67.3	32.7
三重県	61.7	38.3
全国	62.2	37.8



- 【質問（３０）】学級会などの話し合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていると回答した割合

（全国との差 １３．８）

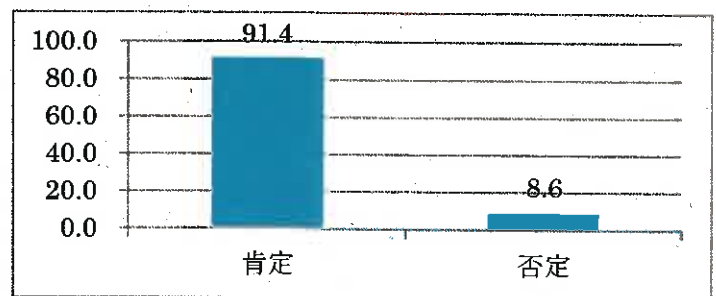
	肯定	否定
大紀町	72.4	27.5
三重県	59.7	40.1
全国	58.6	41.3



- 【質問（３３）】先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれると回答した割合

（全国との差 ６．６）

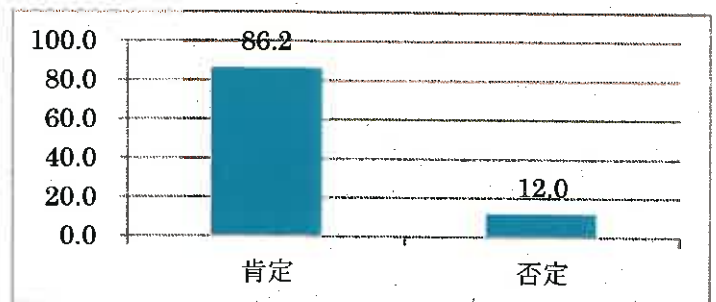
	肯定	否定
大紀町	91.4	8.6
三重県	87.8	11.9
全国	84.8	15.0



- 【質問（３４）】今住んでいる地域の行事に参加していると回答した割合

（全国との差 １８．３）

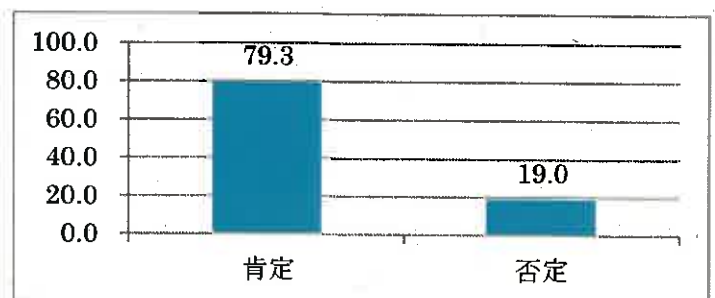
	肯定	否定
大紀町	86.2	12.0
三重県	73.1	26.7
全国	67.9	32.0



- 【質問（３６）】地域社会などでボランティア活動に参加したことがあると回答した割合

（全国との差 １８．６）

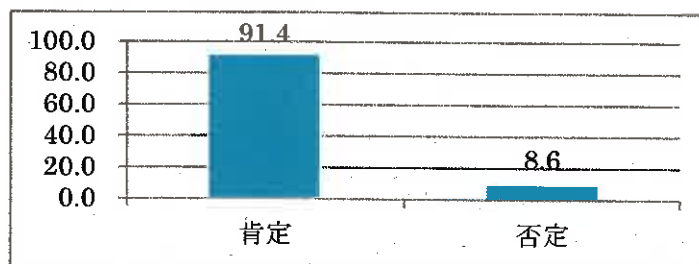
	肯定	否定
大紀町	79.3	19.0
三重県	55.2	43.8
全国	60.7	38.1



- 【質問（３８）】テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ている（携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む）と回答した割合

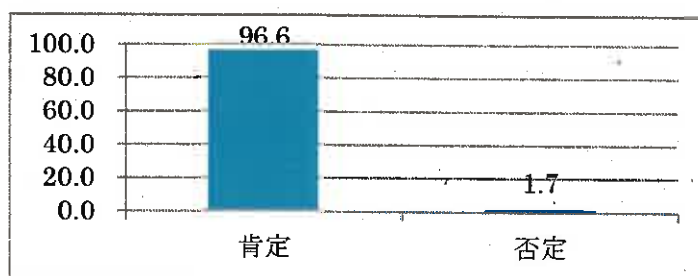
（全国との差 ５．０）

	肯定	否定
大紀町	91.4	8.6
三重県	85.0	14.9
全国	86.4	13.5



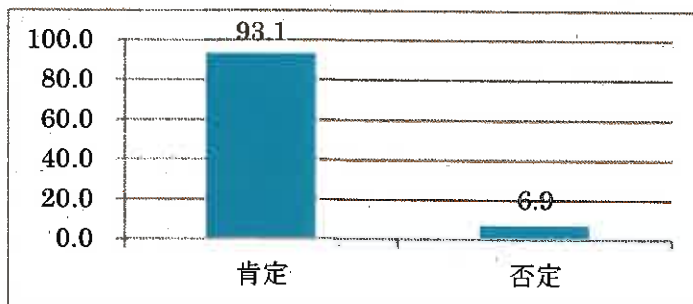
- 【質問（３９）】学校のきまりを守っていると回答した割合
（全国との差 ５．１）

	肯定	否定
大紀町	96.6	1.7
三重県	91.8	8.1
全国	91.5	8.4



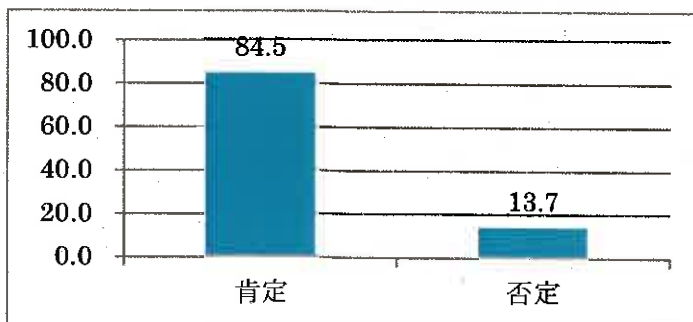
- 【質問（４１）】人が困っているときは、進んで助けていると回答した割合
（全国との差 ８．５）

	肯定	否定
大紀町	93.1	6.9
三重県	86.7	13.2
全国	84.6	15.3



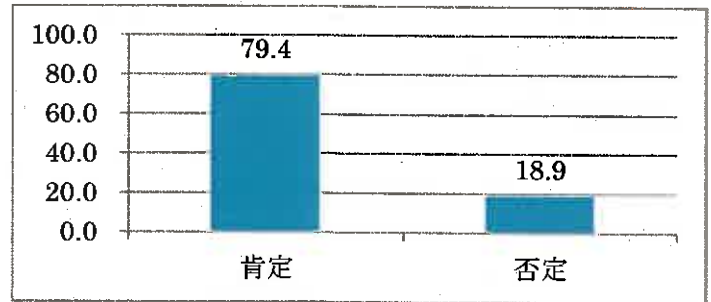
- 【質問（４４）】「総合的な学習の時間」の勉強は好きと回答した割合
（全国との差 ７．３）

	肯定	否定
大紀町	84.5	13.7
三重県	77.5	22.2
全国	77.2	22.2



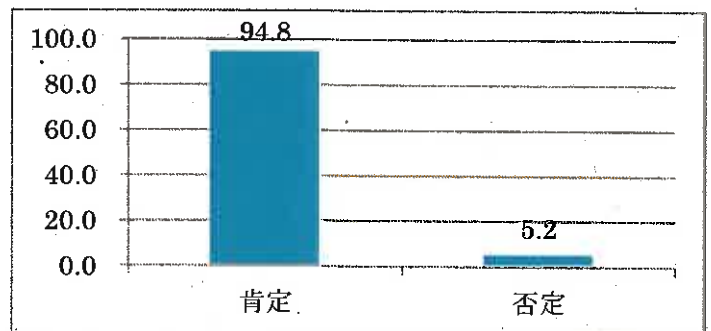
- 【質問（４６）】「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると回答した割合
(全国との差 14.0)

	肯定	否定
大紀町	79.4	18.9
三重県	56.6	43.0
全国	65.4	33.9



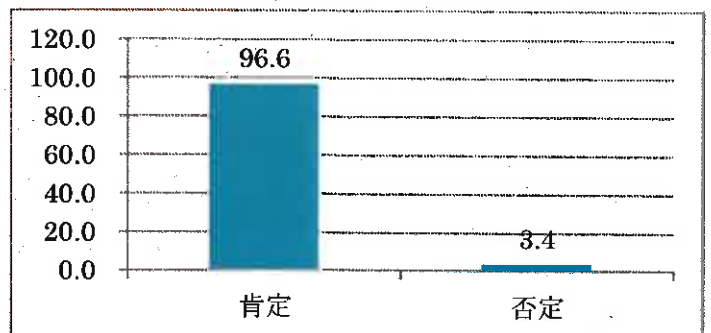
- 【質問（４８）】５年生までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思うと回答した割合
(全国との差 9.7)

	肯定	否定
大紀町	94.8	5.2
三重県	87.2	12.6
全国	85.1	14.7



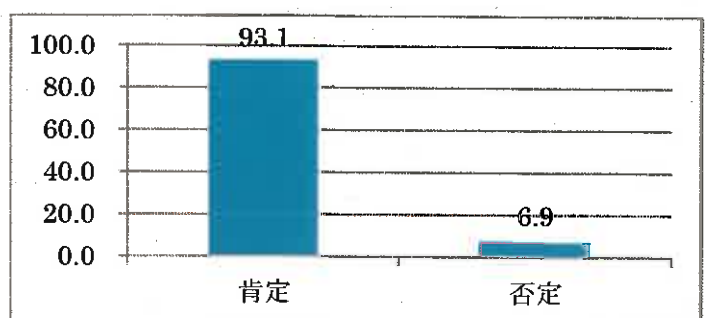
- 【質問（５３）】５年生までに受けた授業のはじめに目標（めあて・ねらい）が示されていたと思うと回答した割合
(全国との差 9.0)

	肯定	否定
大紀町	96.6	3.4
三重県	88.8	11.1
全国	87.6	12.3



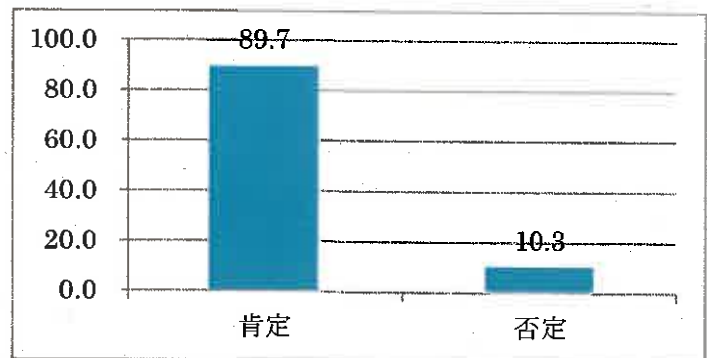
- 【質問（５５）】５年生までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思うと回答した割合
(全国との差 5.2)

	肯定	否定
大紀町	93.1	6.9
三重県	88.3	11.5
全国	87.9	12.0



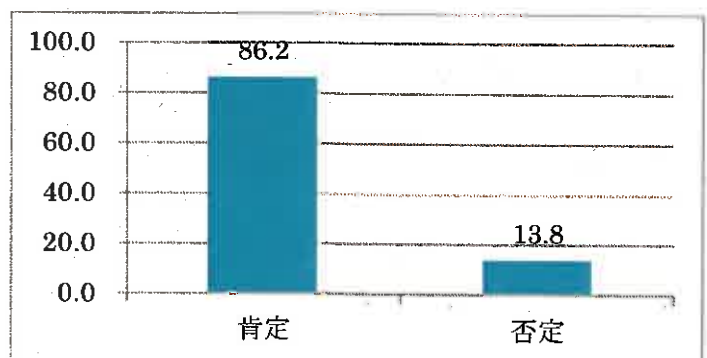
- 【質問（５６）】５年生までに受けた道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思うと回答した割合
（全国との差 １２．１）

	肯定	否定
大紀町	89.7	10.3
三重県	78.6	21.1
全国	77.6	21.9



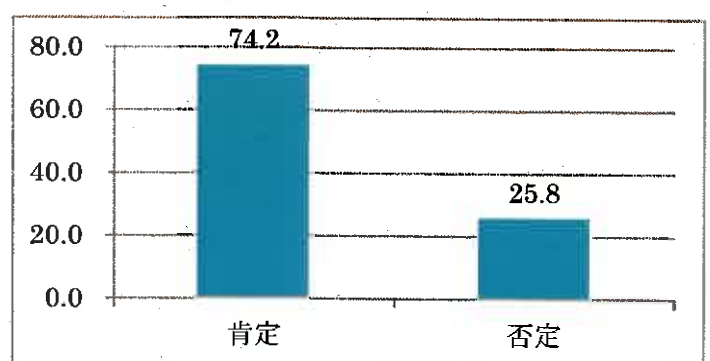
- 【質問（６３）】国語の授業の内容はよく分かると回答した割合
（全国との差 ５．５）

	肯定	否定
大紀町	86.2	13.8
三重県	81.4	18.5
全国	80.7	19.0



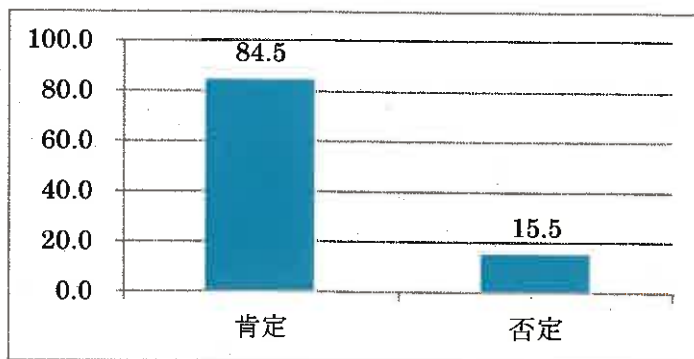
- 【質問（６７）】国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していると回答した割合
（全国との差 １１．９）

	肯定	否定
大紀町	74.2	25.8
三重県	63.1	36.6
全国	62.3	37.4



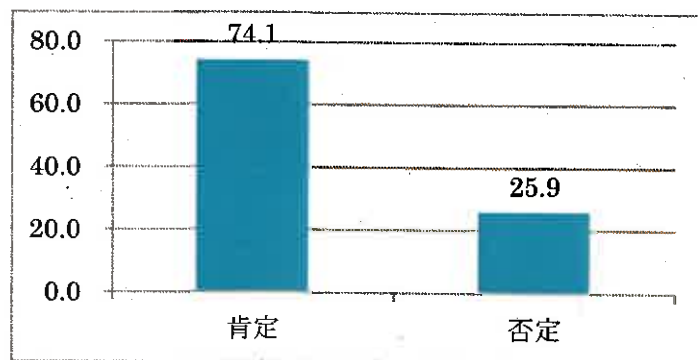
- 【質問（６８）】国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていると回答した割合
(全国との差 １０．５)

	肯定	否定
大紀町	84.5	15.5
三重県	75.0	24.8
全国	74.0	25.7



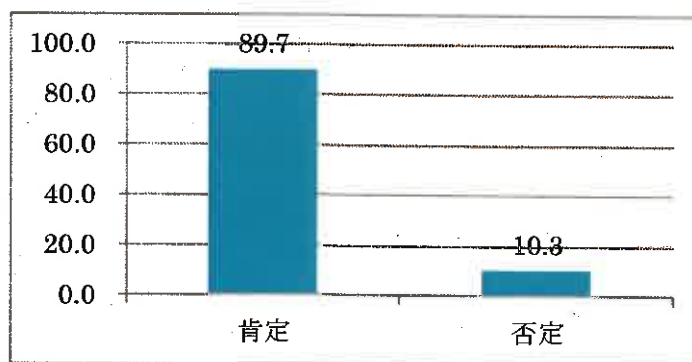
- 【質問（７１）】算数の勉強は好きと回答した割合
(全国との差 ８．１)

	肯定	否定
大紀町	74.1	25.9
三重県	67.6	32.2
全国	66.0	33.6



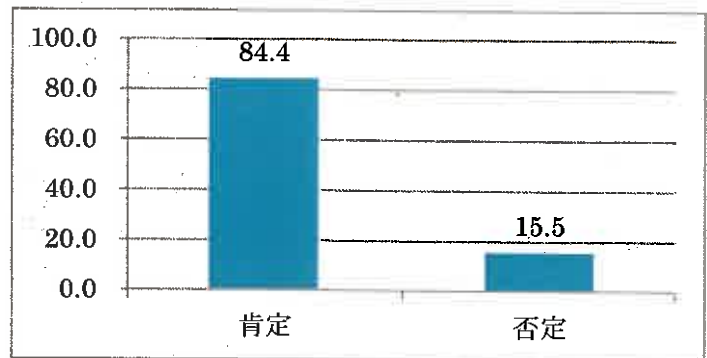
- 【質問（７３）】算数の授業の内容はよく分かると回答した割合
(全国との差 ９．５)

	肯定	否定
大紀町	89.7	10.3
三重県	82.6	17.2
全国	80.2	19.5



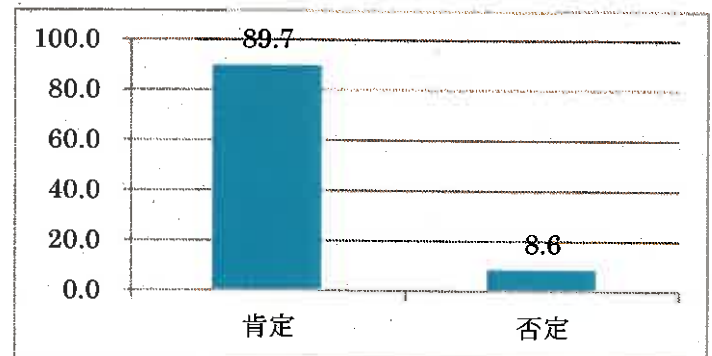
- 【質問（74）】算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思うと回答した割合
（全国との差 8.6）

	肯定	否定
大紀町	84.4	15.5
三重県	78.0	21.9
全国	75.8	23.9



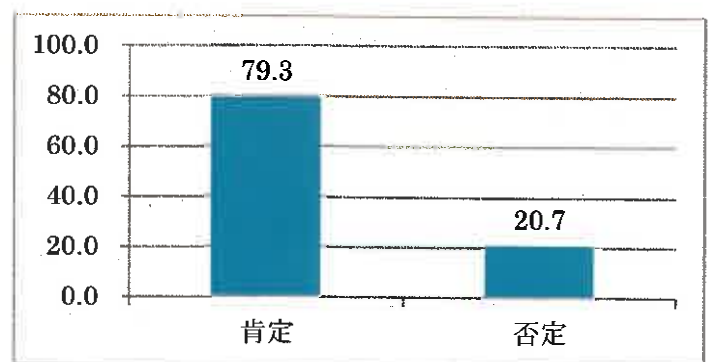
- 【質問（75）】算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えると回答した割合
（全国との差 8.7）

	肯定	否定
大紀町	89.7	8.6
三重県	82.7	17.0
全国	81.0	18.7



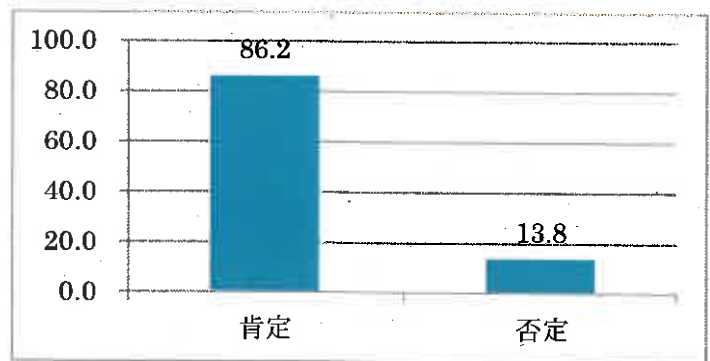
- 【質問（76）】算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えると回答した割合
（全国との差 11.9）

	肯定	否定
大紀町	79.3	20.7
三重県	67.8	32.1
全国	67.4	32.2



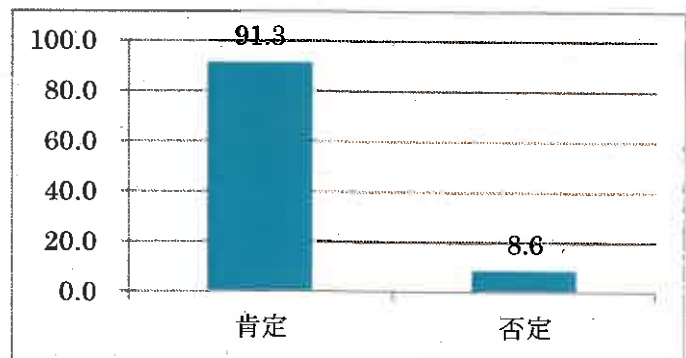
- 【質問（78）】算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える
と回答した割合
(全国との差 5.7)

	肯定	否定
大紀町	86.2	13.8
三重県	81.7	18.0
全国	80.5	19.2



- 【質問（84）】調査問題の解答時間は十分だった（算数A）と回答した割合
(全国との差 5.0)

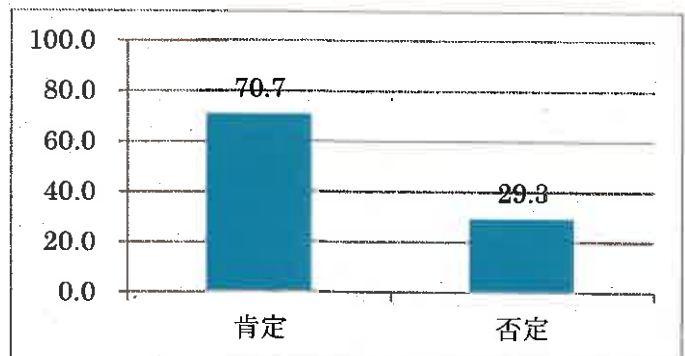
	肯定	否定
大紀町	91.3	8.6
三重県	87.4	12.3
全国	86.3	13.2



<弱み>

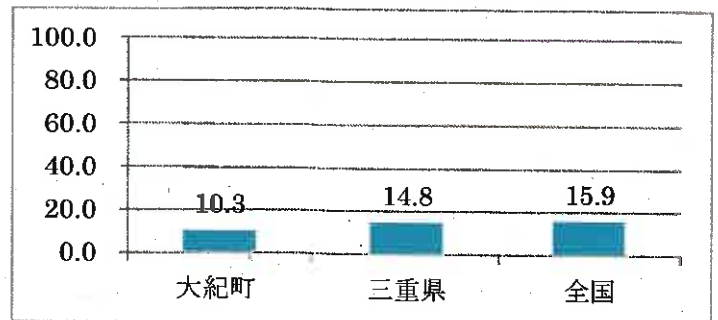
- 【質問（6）】自分には、よいところがあると思うと回答した割合
(全国との差 -5.6)

	肯定	否定
大紀町	70.7	29.3
三重県	75.5	24.4
全国	76.3	23.6



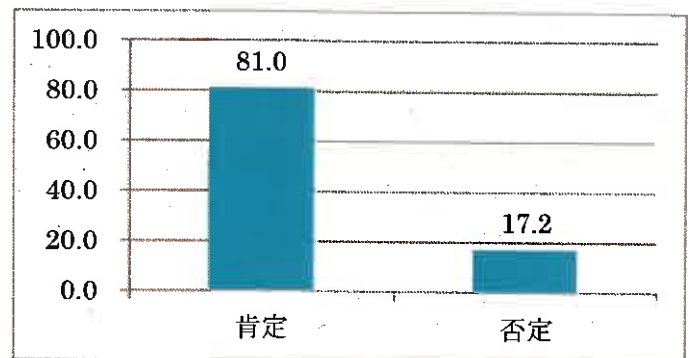
- 【質問（１１）】普段（月～金曜日）、１日当たりのテレビやビデオ・ＤＶＤを見たり、聞いたりする時間（勉強のためのテレビやビデオ・ＤＶＤを見る時間、テレビゲームをする時間は除く）が１時間より少ない、全くしないと回答した割合
（全国との差 －５．６）

	１時間より少ない 全くしない
大紀町	10.3
三重県	14.8
全国	15.9



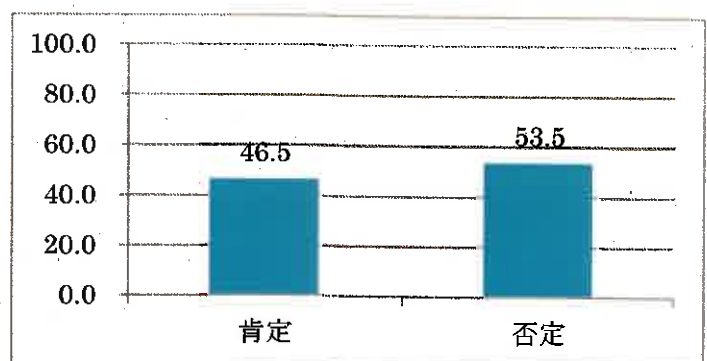
- 【質問（２６）】学校に行くのは楽しいと思うと回答した割合
（全国との差 －５．３）

	肯定	否定
大紀町	81.0	17.2
三重県	86.9	12.9
全国	86.3	13.6



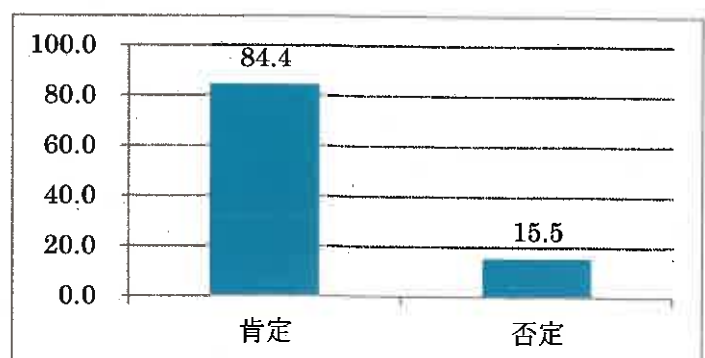
- 【質問（６１）】国語の勉強は好きと回答した割合
（全国との差 －１１．８）

	肯定	否定
大紀町	46.5	53.5
三重県	56.1	43.4
全国	58.3	41.3



- 【質問（７２）】算数の勉強は大切だと思うと回答した割合
（全国との差 －７．５）

	肯定	否定
大紀町	84.4	15.5
三重県	92.4	7.3
全国	91.9	7.8



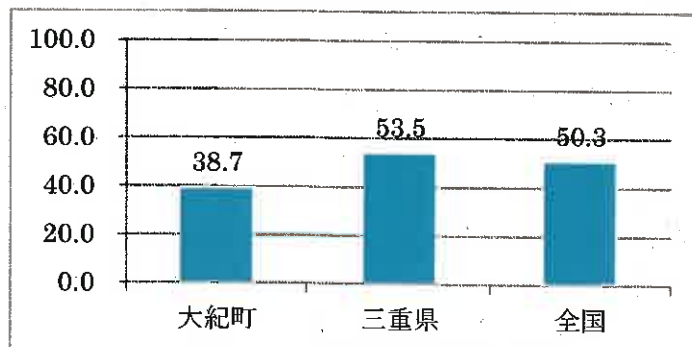
(2) 中学校

<強み>

- 【質問(17)】学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりの読書の時間(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)が10分より少ない、全くしないと回答した割合

(全国との差 -11.6)

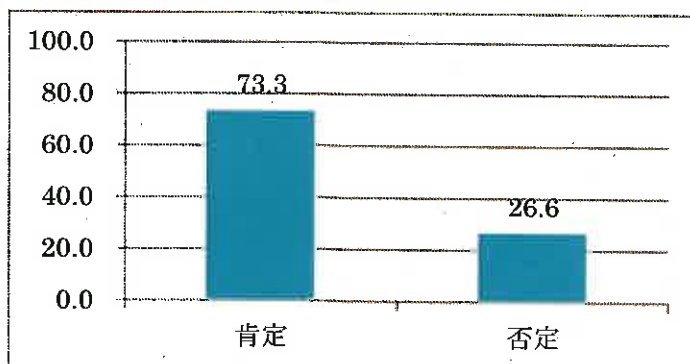
	10分より少ない 全くしない
大紀町	38.7
三重県	53.5
全国	50.3



- 【質問(20)】家の手伝いをしていると回答した割合

(全国との差 6.1)

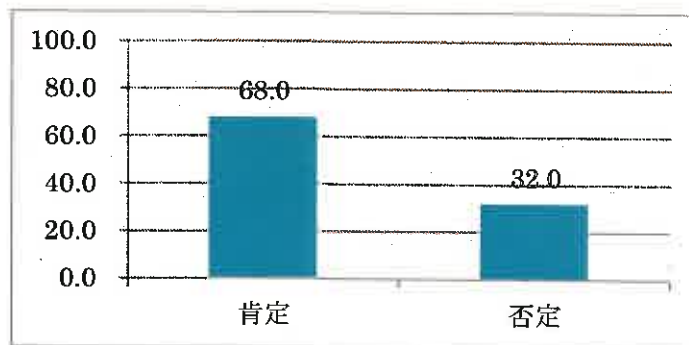
	肯定	否定
大紀町	73.3	26.6
三重県	66.8	33.1
全国	67.2	32.7



- 【質問(34)】今住んでいる地域の行事に参加していると回答した割合

(全国との差 22.8)

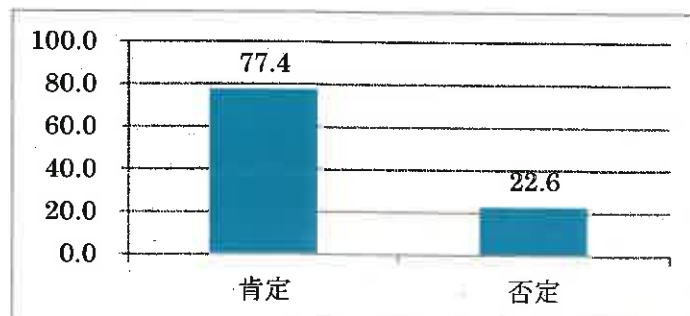
	肯定	否定
大紀町	68.0	32.0
三重県	50.9	49.0
全国	45.2	54.8



- 【質問(35)】地域や社会で起こっている問題や出来事に関心があると回答した割合

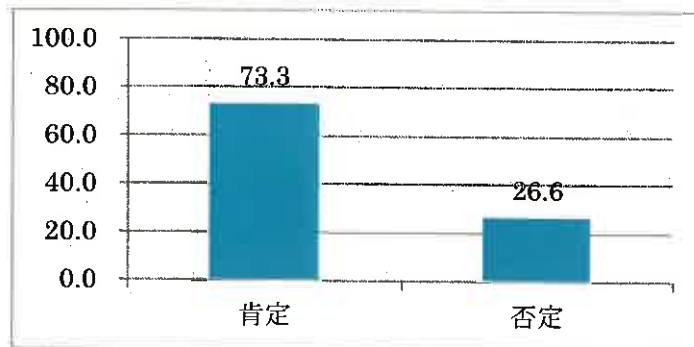
(全国との差 11.6)

	肯定	否定
大紀町	77.4	22.6
三重県	65.9	34.0
全国	65.8	34.1



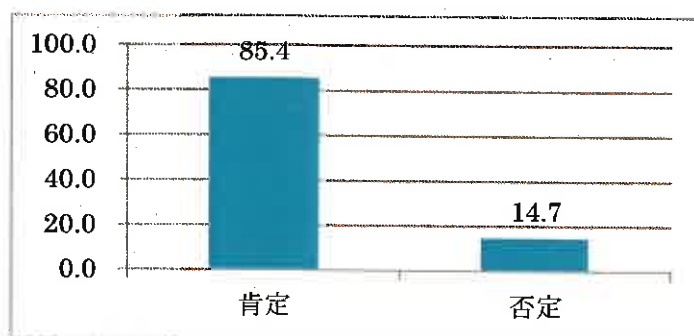
- 【質問（４４）】「総合的な学習の時間」の勉強は好きだと回答した割合
（全国との差 ５．０）

	肯定	否定
大紀町	73.3	26.6
三重県	65.7	34.2
全国	68.3	31.5



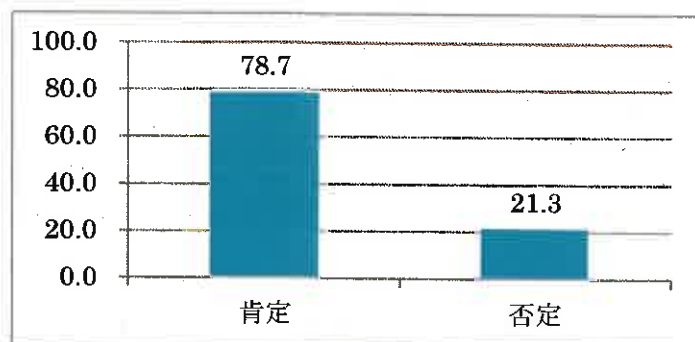
- 【質問（５１）】１，２年生のときに受けた授業で、生徒の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思うと回答した割合
（全国との差 １３．０）

	肯定	否定
大紀町	85.4	14.7
三重県	74.8	25.0
全国	72.4	27.5



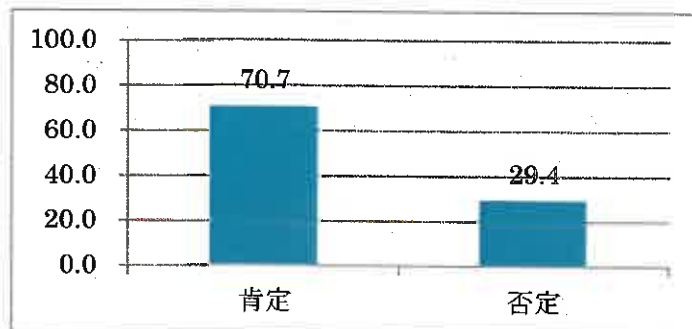
- 【質問（５４）】１，２年生のときに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思うと回答した割合
（全国との差 １５．６）

	肯定	否定
大紀町	78.7	21.3
三重県	68.8	31.0
全国	63.1	36.8



- 【質問（５９）】生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思うと回答した割合
（全国との差 ５．９）

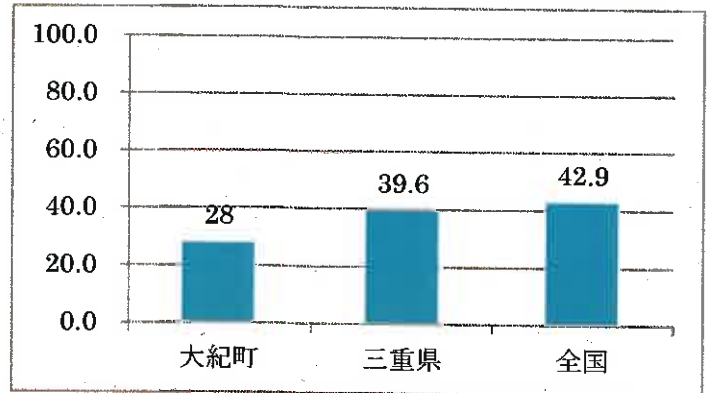
	肯定	否定
大紀町	70.7	29.4
三重県	64.8	35.0
全国	64.8	34.9



<弱み>

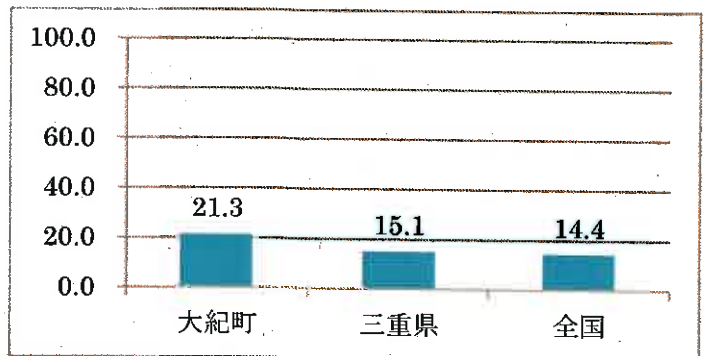
- 【質問（１２）】普段（月～金曜日）、１日当たり、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をする時間が１時間より少ない、全くしないと回答した割合
（全国との差 －１４．９）

	１時間より少ない 全くしない
大紀町	28.0
三重県	39.6
全国	42.9



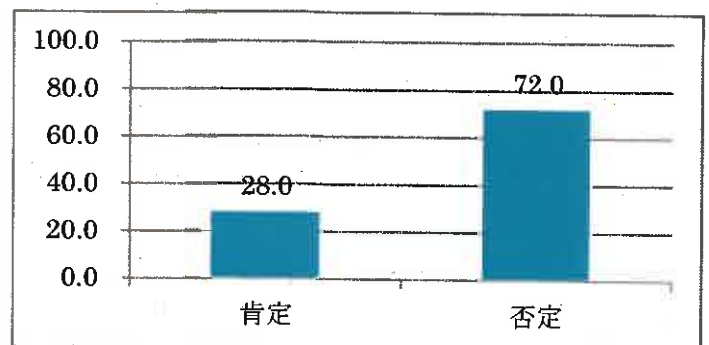
- 【質問（１４）】学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、１日当たりの勉強時間（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）が３０分より少ない、全くしないと回答した割合
（全国との差 ６．９）

	３０分より少ない 全くしない
大紀町	21.3
三重県	15.1
全国	14.4



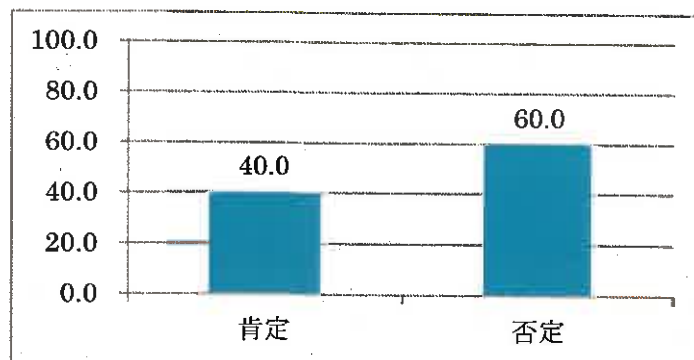
- 【質問（２３）】家で、学校の授業の予習をしていると回答した割合
（全国との差 －６．２）

	肯定	否定
大紀町	28.0	72.0
三重県	34.8	64.9
全国	34.2	65.6



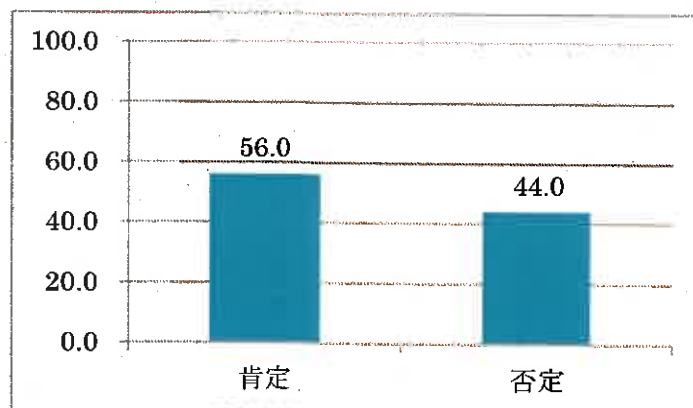
- 【質問（２４）】家で、学校の授業の復習をしていると回答した割合
（全国との差 －１１．０）

	肯定	否定
大紀町	40.0	60.0
三重県	48.5	51.2
全国	51.0	48.6



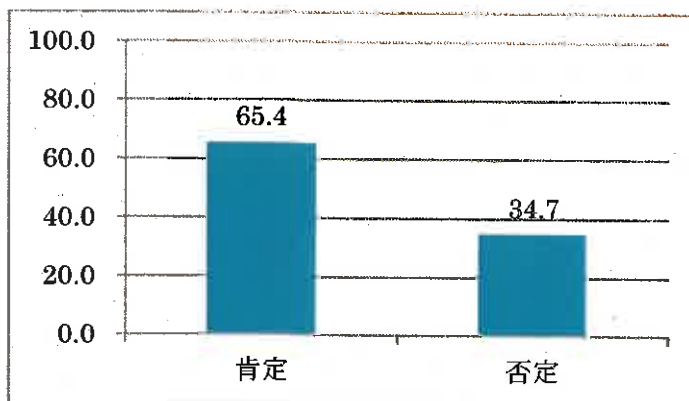
- 【質問（２５）】家で、予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していると回答した割合
（全国との差 －１２．２）

	肯定	否定
大紀町	56.0	44.0
三重県	68.1	31.4
全国	68.2	31.3



- 【質問（２９）】あなたの学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合って学級のきまりなどを決めていると思うと回答した割合
（全国との差 －１３．０）

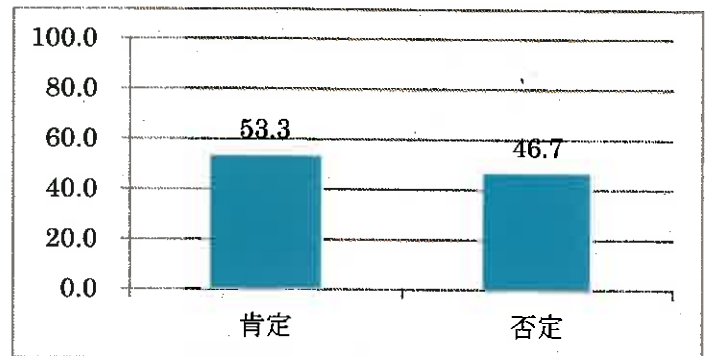
	肯定	否定
大紀町	65.4	34.7
三重県	81.2	18.4
全国	78.4	21.3



- 【質問（３０）】学級会などの話し合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていると回答した割合

（全国との差 －５．１）

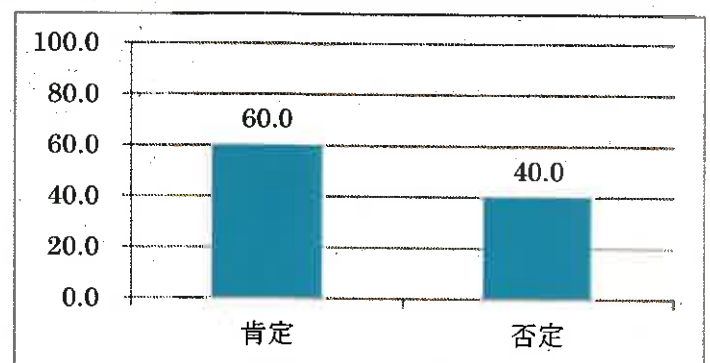
	肯定	否定
大紀町	53.3	46.7
三重県	59.7	40.3
全国	58.4	41.6



- 【質問（３２）】先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思うと回答した割合

（全国との差 －１８．０）

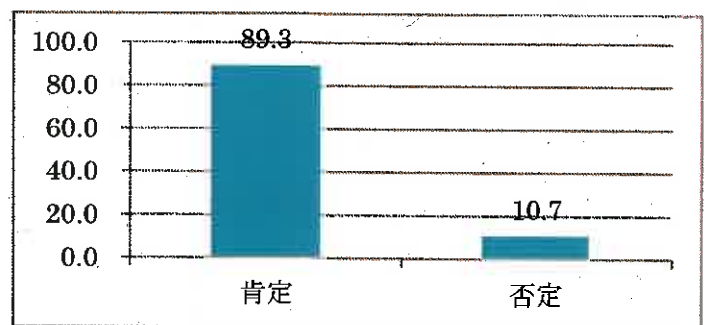
	肯定	否定
大紀町	60.0	40.0
三重県	79.6	20.1
全国	78.0	21.8



- 【質問（３９）】学校の規則を守っていると回答した割合

（全国との差 －５．４）

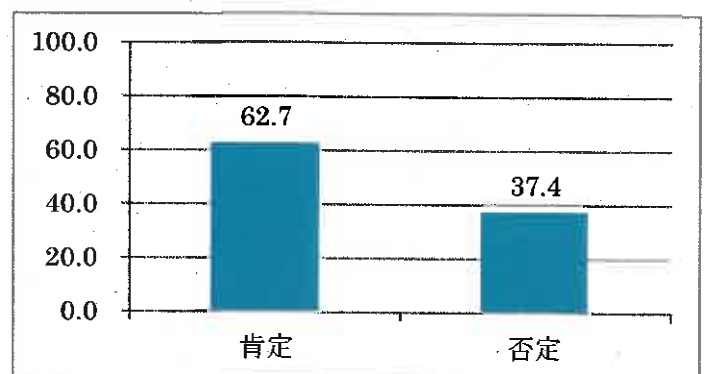
	肯定	否定
大紀町	89.3	10.7
三重県	95.9	4.0
全国	94.7	5.2



- 【質問（４５）】「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思うと回答した割合

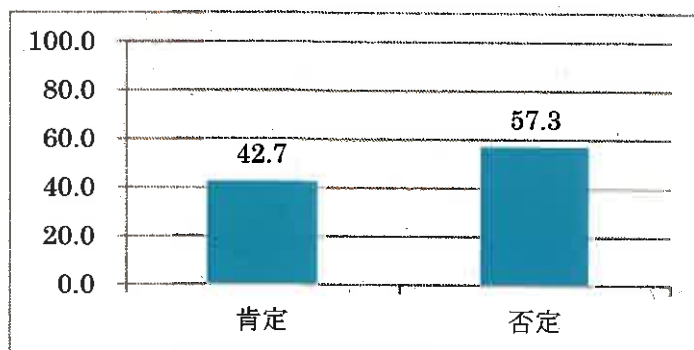
（全国との差 －１０．１）

	肯定	否定
大紀町	62.7	37.4
三重県	75.2	24.6
全国	72.8	26.9



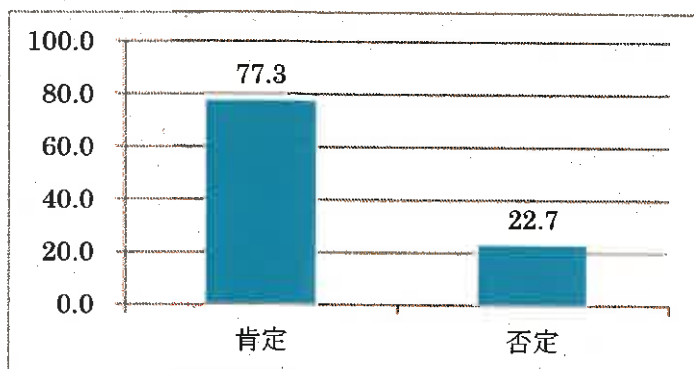
- 【質問（４６）】「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると回答した割合
(全国との差 - 15.0)

	肯定	否定
大紀町	42.7	57.3
三重県	49.9	49.9
全国	57.7	42.1



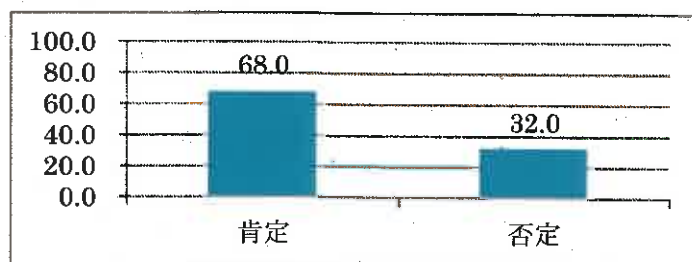
- 【質問（４８）】１，２年生のときに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思うと回答した割合
(全国との差 - 6.8)

	肯定	否定
大紀町	77.3	22.7
三重県	87.2	12.7
全国	84.1	15.8



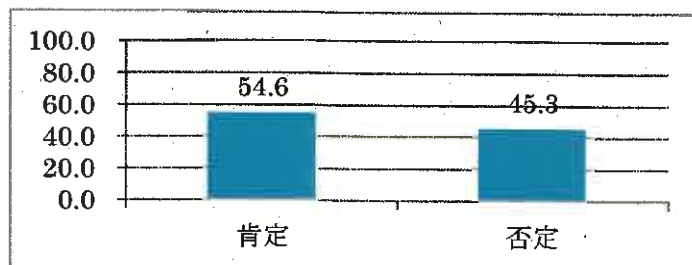
- 【質問（５８）】学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思うと回答した割合
(全国との差 5.2)

	肯定	否定
大紀町	68.0	32.0
三重県	64.6	35.3
全国	62.8	37.0



- 【質問（６１）】国語の勉強は好きと回答した割合
(全国との差 - 5.2)

	肯定	否定
大紀町	54.6	45.3
三重県	58.4	41.4
全国	59.8	40.0



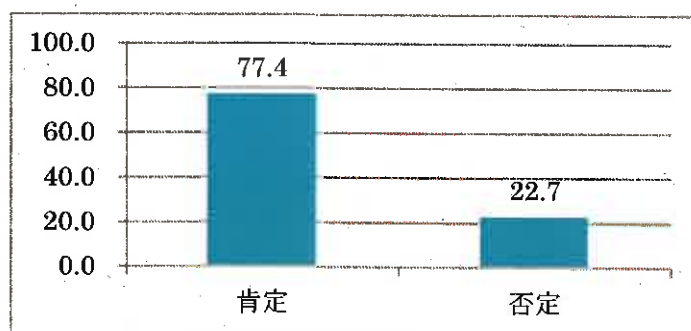
○【質問（６２）】国語の勉強は大切だと思うと回答した割合
（全国との差 － 6.4）

	肯定	否定
大紀町	82.7	17.3
三重県	89.3	10.5
全国	89.1	10.7



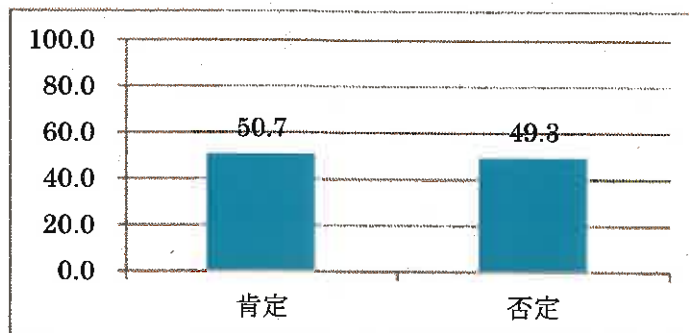
○【質問（６５）】国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思うと回答した割合
（全国との差 － 7.2）

	肯定	否定
大紀町	77.4	22.7
三重県	85.4	14.4
全国	84.6	15.2



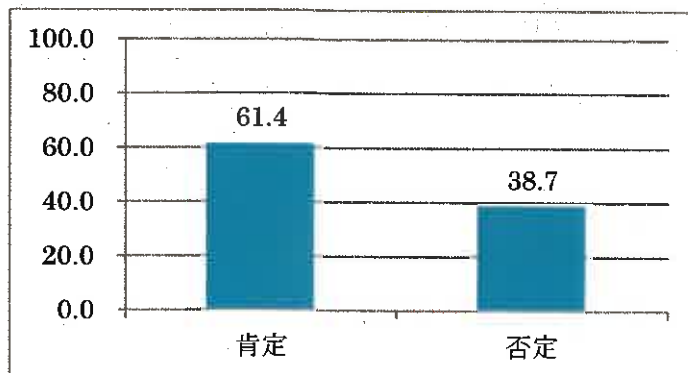
○【質問（６６）】国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていると回答した割合
（全国との差 － 11.5）

	肯定	否定
大紀町	50.7	49.3
三重県	58.4	41.4
全国	62.2	37.6



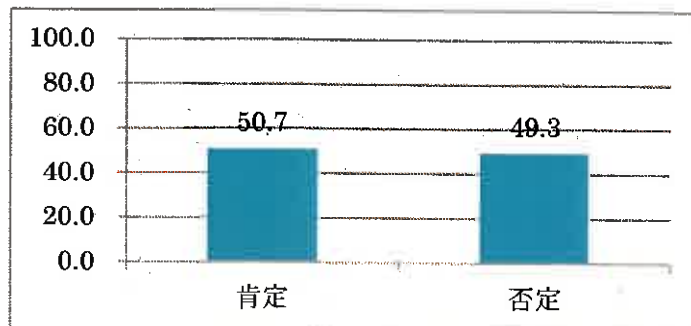
○【質問（６８）】国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていると回答した割合
（全国との差 － 5.3）

	肯定	否定
大紀町	61.4	38.7
三重県	66.4	33.4
全国	66.7	33.1



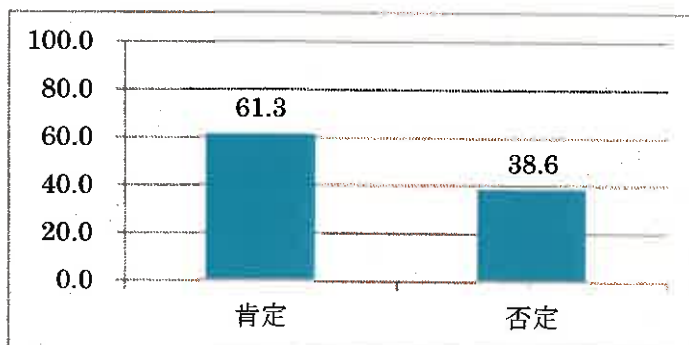
○【質問（７１）】数学の勉強は好きだと思いと回答した割合
（全国との差 －５．３）

	肯定	否定
大紀町	50.7	49.3
三重県	59.5	40.2
全国	56.0	43.7



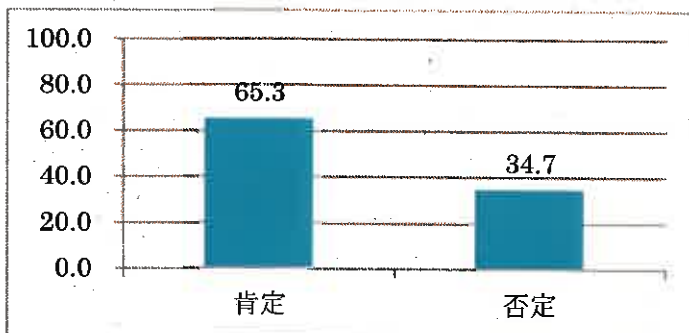
○【質問（７３）】数学の授業の内容はよく分かると回答した割合
（全国との差 －８．１）

	肯定	否定
大紀町	61.3	38.6
三重県	74.9	24.7
全国	69.4	30.2



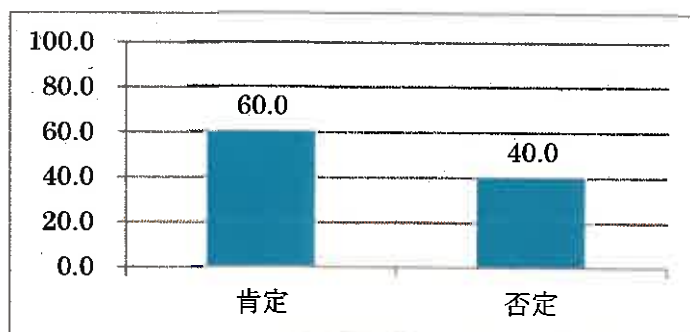
○【質問（７５）】数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えると回答した割合
（全国との差 －６．８）

	肯定	否定
大紀町	65.3	34.7
三重県	75.3	24.5
全国	72.1	27.5



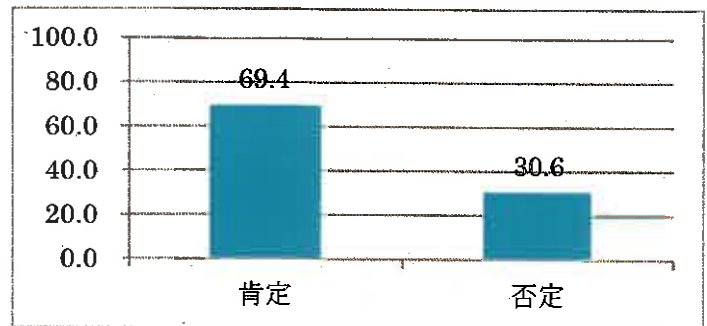
○【質問（７７）】数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思うと回答した割合
（全国との差 －１１．５）

	肯定	否定
大紀町	60.0	40.0
三重県	73.1	26.5
全国	71.5	28.1



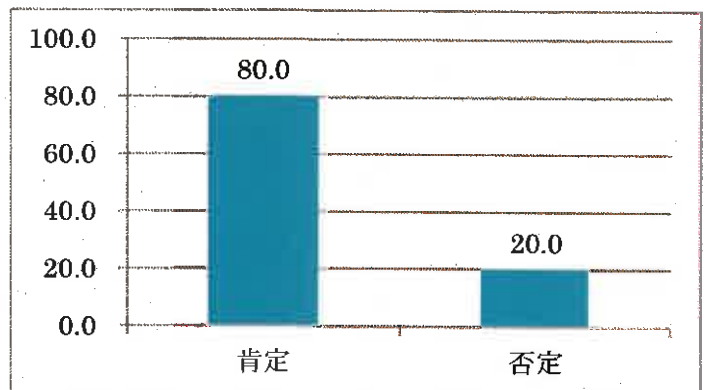
- 【質問（８０）】数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いて
いると回答した割合
（全国との差 －１１．７）

	肯定	否定
大紀町	69.4	30.6
三重県	80.7	18.9
全国	81.1	18.4



- 【質問（８４）】調査問題の解答時間は十分だった（数学 A）と回答した割合
（全国との差 －９．２）

	肯定	否定
大紀町	80.0	20.0
三重県	92.5	7.0
全国	89.2	10.2



4 町内における小中学校別調査の結果・分析と今後の取組み

<小学校>

- ・これまでの授業や学級会での話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる子どもが多いです。

児童 (30) (48) (56)

学校 (39) (40) (42) (44) (50)

- ・各教科において、授業のはじめに目標（めあて・ねらい）を示し、授業の最後に学習内容を振り返る活動を取り入れる活動に改善が見られました。「子どもが学習の見通しをもつ」ことができる目標の提示と「本時の学習が身に付き、次の学習に活用できることを子どもが認識する」ことができる振り返る活動を、さらに生徒自身が意識できるよう取り組みます。

児童 (53) (55)

学校 (36) (37) (41)

- ・国語の授業において、うまく伝わるように話の組み立てを工夫したり、考えの理由が分かるように気を付けて書いたりしていると答えている子どもが多いです。今後は、目的や相手に応じ、図表やグラフを活用して自分の考えを書くことで、より説得力が生まれることを自覚できるように、他教科と関係付けた指導を充実させます。

児童 (67) (68)

学校 (69) (70)

教科(国語B) 2一

- ・算数では、既習内容や考えを活用し言葉や図などを適切に用いて自分の考えを書くことに課題があります。今後は、自分の考えの根拠を明らかにしながら、説明したり書いたりする活動を意図的に取り入れます。

児童 (80) (81)

教科(算数B) 1 (2) 2 (3) 3 (2) 4 (3) 5 (1) (2)

- ・算数の指導として、補充的な学習指導や発展的な学習指導を行ったり、実生活における事象との関連を図った学習活動を取り入れることにより、算数における子どもの学習に対する関心・意欲・態度は改善がみられます。今後は、習熟度別少人数指導を取り入れたり、ボランティア等による授業サポート（補助）を行ったりして、個に応じた指導を充実させます。

児童 (71) (73) (74) (75) (76) (78) (84)

学校 (64) (65) (73) (74) (75) (85)

- ・家庭学習の課題の与え方を教職員で共通理解を図り、子どもに対して、具体的な家庭での学習方法を示している学校が増え、自分で家庭学習の計画を立て勉強する子どもが増加しています。

児童 (14) (15) (21)

学校 (92) (93) (94) (95) (96) (97) (98) (99) (100)

- ・地域社会などでボランティア活動に参加したり、テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見たりするなど、地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある子ども

も多いです。

児童（34）（36）（38）

<中学校>

- ・各教科において、授業のはじめに目標（めあて・ねらい）を示し、授業の最後に学習内容を振り返る活動を取り入れる活動に改善が見られました。「子どもが学習の見通しをもつ」ことができる目標の提示と「本時の学習が身に付き、次の学習に活用できることを子どもが認識する」ことができる振り返る活動を、さらに生徒自身が意識できるよう取り組みます。

生徒（53）（54）

学校（36）（37）（41）

- ・特に数学において、全国に比べて無解答率が高い傾向にあります。今後は、習熟度別少人数指導を取り入れたり、ボランティア等による授業サポート（補助）を行ったりして、個に応じた指導を充実させます。

学校（34）（64）（65）

- ・文章の構成や表現の仕方について、また、問題解決の方法や事柄が成り立つ理由について、根拠を明確にして自分の考えを書いたり説明したりすることに課題があります。目的や条件に合わせて、自分の考え等を書いたり説明したりする活動を各教科等に位置付けていきます。

生徒（58）（66）（68）（79）（80）

学校（21）（38）（40）（70）

教科（国語B）1三、3三

教科（数学B）1（3）、2（2）、3（3）、5（1）、6（2）

- ・授業で学習したことが、普段の生活の中で活用できたり、将来、社会に出たときに役に立つことが実感できたりするよう指導を工夫します。

生徒（45）（65）（77）

学校（52）（75）

- ・「総合的な学習の時間」等において、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいきます。

生徒（46）

学校（43）

- ・礼儀正しさや規則を守ることに課題があります。道徳の時間において、生徒自らが考え話し合う指導を充実させるとともに、学級会などの時間に友だち同士で話し合って学級のきまりなどを決めるなどして、規範意識の向上を図ります。

生徒（29）（30）（39）

学校（16）（50）

- ・家庭学習の課題の与え方について教職員間で共通理解を図ったり、保護者に対して生徒の家庭学習を促す働きかけを行ったりする取組はなされています。しかしながら、学校の授業時間以外の、普段（月～金曜日）1日当たりの勉強時間が少なく、家で、授業の予習・復習をしたりする子どもの割合が低くなっています。引き続き、家庭学習の充実に向けて取り組みます。

生徒（14）（23）（24）（25）

学校（90）（92）（94）（95）（96）（97）（98）

- ・ 普段（月～金曜日）、1日当たり、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む）を1時間以上している子どもが多いです。今後、家庭学習をする習慣を身につけることができるように、生徒や家庭に働きかけていきます。

生徒（12）（14）

学校（94）（95）（96）（97）（98）

5 町教育委員会及び学校による取組み

今回の全国学力・学習状況調査結果を踏まえ、「町の宝である子どもたち」の学力向上のために、学校、家庭、地域の連携をより一層深め、特に、明らかになった「弱み」を克服するために、三重県教育委員会の支援のもと、指導方法の工夫・改善に取り組んでいきます。

【具体的事項】

- ① 大紀町学力向上推進協議会（仮称）を立ち上げ、小中連携のもと、各学校の取組みについて情報交換を行い、子どもたちの学力を伸ばすためのPDCAサイクルの徹底化をはかりながら授業改善を進めます。
- ② 南勢教育支援事務所や度会郡指導主事室の指導主事の学校訪問等による授業改善に向けた授業力向上を目指します。
- ③ 学力向上に向けて、学校経営、学習指導等への支援にあたっていきます。
- ④ 町独自による学校特別支援員、学校図書館運営補助員の効果的配置と活用の継続・充実を図り、きめ細やかな指導体制を構築します。
- ⑤ 児童生徒の主体的な学習意欲を高めるために、地域学習や体験活動など各種取組みを支援します。
- ⑥ 学校・家庭における読書の習慣化に向けた取り組みを進めます。
- ⑦ 児童生徒が安心して学べる学習環境の整備に努めます。
- ⑧ 補充授業などの機会を利用して、子どもたち一人ひとりの基礎的な学力の一層の定着を図ります。
- ⑨ みえスタディ・チェックやワークシートの活用を積極的に行い、学力の向上に努めます。
- ⑩ 授業の目標（めあて・ねらい）、振り返り活動を取り入れ、「わかる」授業へと改善を図ります。
- ⑪ 保護者と連携し、家庭学習の重要性や基本的な生活習慣の更なる改善を図っていきます。

6 保護者の皆様へのお願い

- ・ 家庭学習の重要性について、各学校においてお知らせしております。学校で学んだこと、学ぶことを復習する予習するという習慣は、学力の定着に大きくつながります。是非、ご家庭においては、子どものノートや宿題に目を通し、見守り、励ますなどの声かけをよろしくお願いします。
- ・ 規則正しい生活リズムが、学力の向上に大きく影響しております。テレビやゲーム、携帯電話及びスマートフォンを使用する時間などについて、家庭でのルールづくりを更に徹底していただくようお願いいたします。

- ・学校では、朝の読書を実施しています。読書は全ての学力の土台となるものです。是非とも、ご家庭でも読書に親しむ環境づくりをお願いいたします。

7 地域の皆様へのお願い

- ・学校において子どもたちは、生活や総合的な学習の時間に地域学習を実施しております。地域の人たちとのふれあいにより、色々なことを学んだり、身につけたりします。学校から地域の皆様方に要請がございましたら、ご協力をよろしくお願いいたします。